

朝霞市クリーンセンターごみ焼却処理施設 整備運営事業に係る生活環境影響調査書

概要版

平成29年3月

朝霞市

目 次

第 1 章 施設の設置に関する計画等	1
1.1 事業の目的	1
1.2 施設の設置者の氏名及び住所	1
1.3 施設の設置場所	1
1.4 設置する施設の種類	3
1.5 施設において処分する廃棄物の種類	3
1.6 施設の処理能力	3
1.7 施設の処理方式	4
1.8 施設の構造及び設備	5
1.9 公害防止対策	7
第 2 章 生活環境影響調査項目の選定	15
2.1 生活環境影響調査項目の選定	15
2.2 生活環境影響調査項目として選定した項目及びその理由	16
2.3 生活環境影響調査項目として選定しない項目及びその理由	17
第 3 章 総合的な評価	19
3.1 現況把握、予測、影響の分析結果の整理	19
3.2 施設設置に関し要求水準書等に反映させるべき事項及びその内容	35
3.3 維持管理に関し要求水準書等に反映させるべき事項及びその内容	36
別添	
煙突排ガスの排出に伴う大気質の影響の長期濃度予測のコンター図	1
施設の稼働に伴う騒音の影響のコンター図	4
施設の稼働に伴う振動の影響のコンター図	5

第1章 施設の設置に関する計画等

1 施設の設置に関する計画等

1.1 事業の目的

現在、朝霞市における可燃ごみを焼却処理している朝霞市クリーンセンター内のごみ焼却処理施設（以下「現施設」という。）は、平成 6 年 12 月の竣工から約 22 年が経過しており、ごみ処理施設の一般的な耐用年数を迎えている状況にある。

同施設の老朽化を踏まえ、平成 22 年度から平成 26 年度の 5 か年計画により、延命化対策工事を実施しているところであるが、ごみ処理事業の効率化、合理化及び未利用エネルギーの活用促進を図るため、「朝霞市クリーンセンター ごみ焼却処理施設（仮称）」（以下「新施設」という。）の整備を行うものである。

1.2 施設の設置者の氏名及び住所

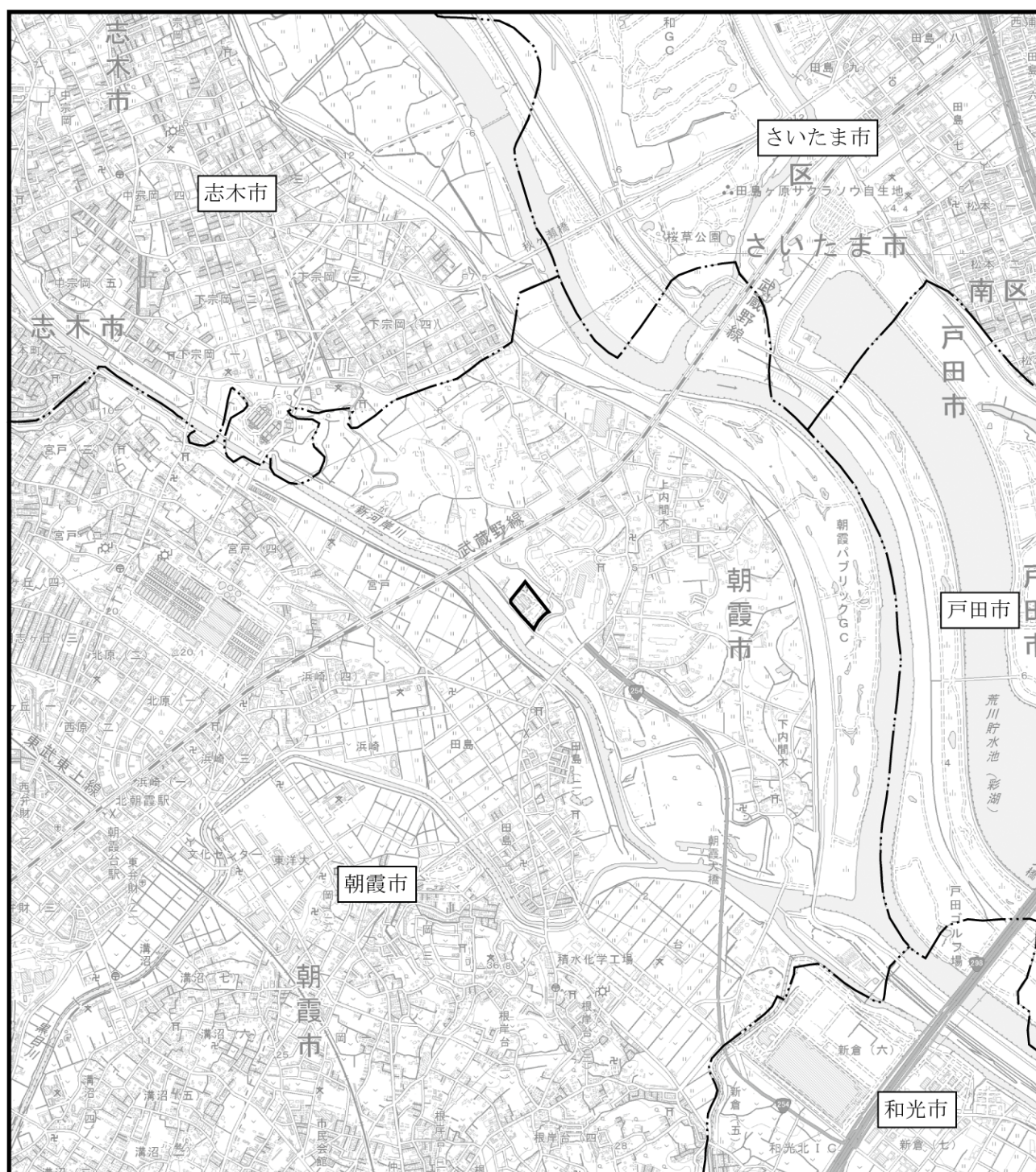
設置者：埼玉県朝霞市 管理者 富岡 勝則

住 所：埼玉県朝霞市本町一丁目 1 番 1 号

1.3 施設の設置場所

新施設は、朝霞市クリーンセンター内（所在地は下記参照）に整備する計画である。朝霞市クリーンセンター内には、現施設、粗大ごみ処理施設、プラスチック類処理施設等が位置している。

所在地：朝霞市大字浜崎字新河岸川通 390-45 他 7 筆（図 1.3-1 参照）

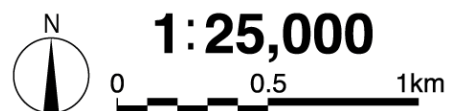


凡 例

□ : 計画地

— : 市 界

図 1.3-1 施設設置位置



1.4 設置する施設の種類

ごみ焼却施設

1.5 施設において処分する廃棄物の種類

一般廃棄物（可燃ごみ（家庭系及び事業系）、粗大ごみ処理施設からの可燃残渣、軟質プラスチック、ビデオテープ及び廃プラスチック）

1.6 施設の処理能力

新施設の処理能力は、表 1.6-1 に示すとおりである。

表 1.6-1 新施設の処理能力

項目	内容			
計画処理量 ※1	26,501.56t/年			
処理能力 ※2	112t/日（56t/日・炉×2基）			
処理方式	ストーカ方式			
計画ごみ質	項目	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
	低位発熱量 (kJ/kg)	6,090	9,620	15,160
	水分 (%)	54.8	44.1	33.7
	灰分 (%)	5.3	6.5	7.6
	可燃分 (%)	39.9	49.4	58.6

※1) 平成 34 年度の可燃ごみ、粗大ごみ処理施設からの可燃残渣等の合計値。

※2) 1 日当たりの平均排出量（約 72t/日）に実稼働率（0.767）から算定した施設規模（約 99t/日）に、災害廃棄物の受入を見込んだ余裕分（約 13t）を考慮し、設定。

1.7 施設の処理方式

新施設のごみ焼却処理方式は、ストーカ方式を採用する計画であり、処理フロー（想定）は、図 1.7-1 に示すとおりである。

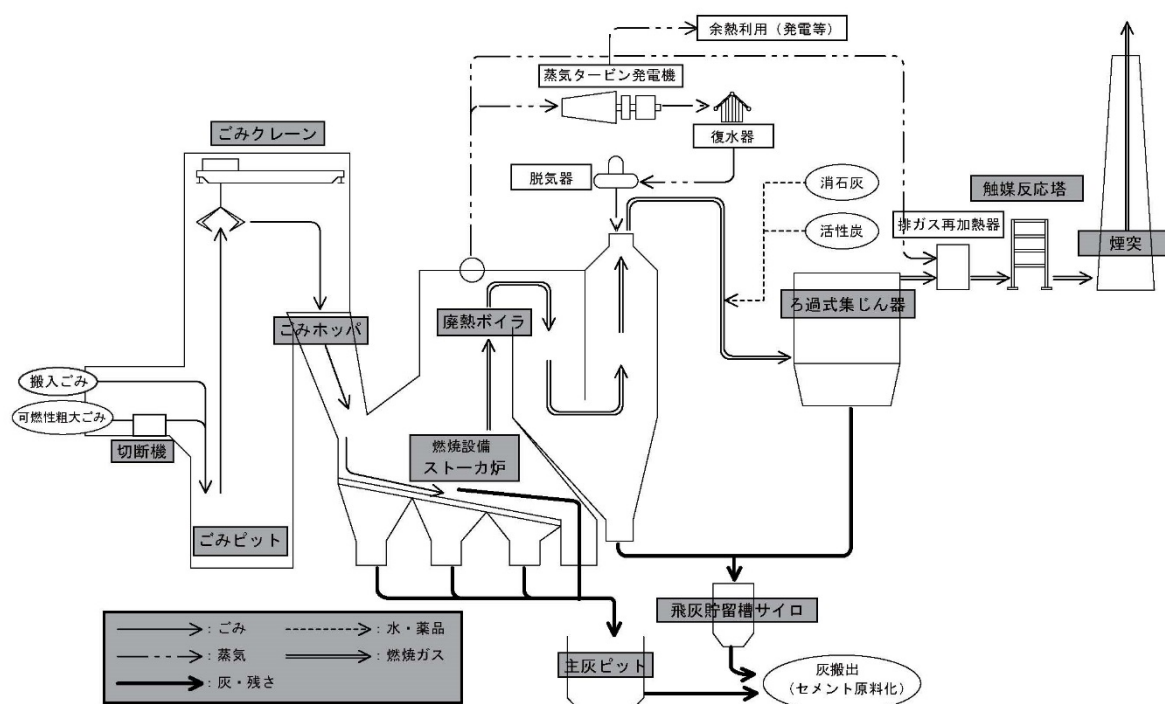


図 1.7-1 ごみ焼却処理フロー図（想定）

1.8 施設の構造及び設備

1.8.1 施設配置

新施設の配置計画は、図 1.8-1 に示すとおりである。

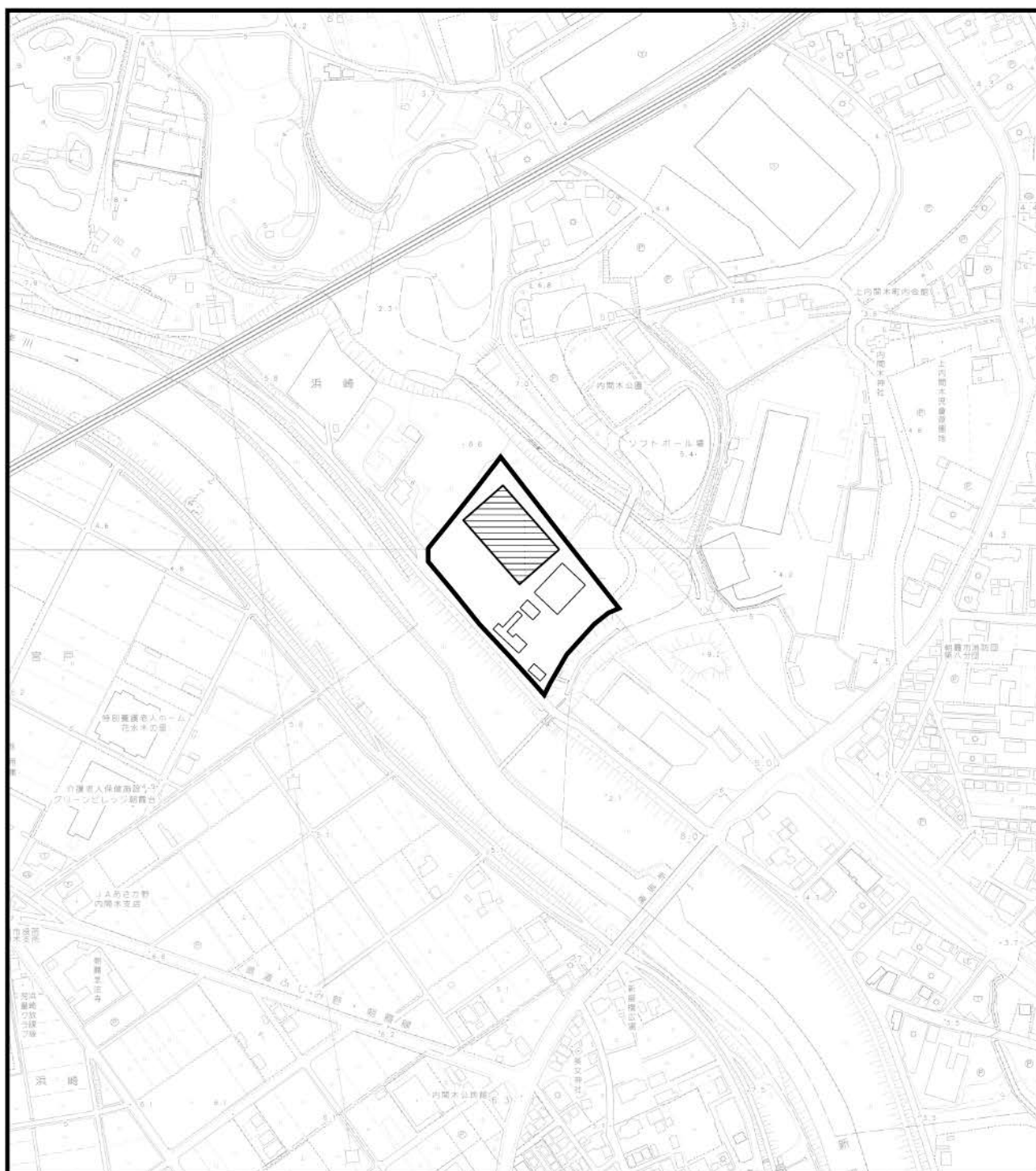
1.8.2 主要設備

新施設の主要な設備方式は表 1.8-1 に示すとおりである。

なお、新施設の建設はプラントメーカーへの性能発注方式（設計・施工一括発注）とすることから、プラントメーカー受注後の実施設計段階において、実際の建屋寸法、配置、動線等が決定される。

表 1.8-1 新施設の主要な設備方式

設備		内容
受入れ供給設備		ピット・アンド・クレーン方式
燃焼設備		ストーカ炉
燃焼ガス冷却設備		廃熱ボイラ方式（全ボイラ）
排ガス処理設備	集じん設備	ろ過式集じん機（バグフィルタ）
	HCl 及び SO _x 除去設備	乾式法
	NO _x 除去設備	燃焼制御＋触媒脱硝方式
	DXNs 除去設備	低温ろ過式集じん機＋活性炭吹き込み方式（＋触媒分解法）
排水処理設備	生活排水	処理後再利用（無放流）
	プラント排水	同上
余熱利用設備		発電、場内空調及び給湯
通風設備		平衡通風方式
灰処理設備		主灰ピット及び飛灰貯留サイロ（搬出し、セメント原料化又は最終処分）



凡 例

 : 計画地

 : 施設配置位置

図 1.8-1 施設配置計画（想定）



1.9 公害防止対策

1.9.1 公害防止条件

新施設においては、関係法令に基づく規制基準と同等以上の公害防止条件を定め、施設の運転管理を行う。

(1) 大気汚染

煙突から排出される大気汚染物質について、表 1.9-1 に示すとおり、「大気汚染防止法」等の関係法令等より公害防止条件を定めている。

表 1.9-1 大気汚染の公害防止条件

区分	規制法令等		公害防止条件	備考
ばいじん (g/Nm ³)	0.08 以下	大気汚染防止法	0.01	酸素濃度 12%換算値
硫黄酸化物 (ppm)	K 値：9.0	大気汚染防止法	20	
窒素酸化物 (ppm)	250 以下	大気汚染防止法	50	
	180 以下	工場・事業場に係る窒素酸化物対策指導方針		
ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	1 以下	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びダイオキシン類対策特別措置法	0.01	
	0.1 以下	ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン		
塩化水素 (ppm)	430	大気汚染防止法	20	
	123	大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づき、排出基準を定める条例（埼玉県）		
水銀 (μg/Nm ³)	30	大気汚染防止法の一部を改正する法律（平成 27 年 6 月 19 日法律第 41 号）	30	

(2) 騒音

計画地は、用途地域の指定のない区域であることから、騒音規制法に基づく2種区域の基準が適用されるため、敷地境界における公害防止条件として表1.9-2に示す規制基準値を設定する。

表 1.9-2 騒音の公害防止条件

区域/時間		朝	昼	夕	夜
		午前6時～ 午前8時	午前8時～ 午後7時	午後7時～ 午後10時	午後10時～ 午前6時
1種	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域	45 dB 以下	50 dB 以下	45 dB 以下	45 dB 以下
2種	第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 用途地域の指定のない区域 都市計画区域外（一部地域）	50 dB 以下	55 dB 以下	50 dB 以下	45 dB 以下
3種	近隣商業地域 商業地域 準工業地域	60 dB 以下	65 dB 以下	60 dB 以下	50 dB 以下
4種	工業地域 工業専用地域	65 dB 以下	70 dB 以下	65 dB 以下	60 dB 以下

出典：「騒音規制法に基づく特定工場などにおいて発生する騒音についての時間及び区域の区分ごとの規制基準」（平成24年3月30日 朝霞市告示第84号）

(3) 振動

計画地は、用途地域の指定のない区域であることから、振動規制法に基づく
1 種区域の規制基準が適用されるため、敷地境界における公害防止条件として
表 1.9-3 に示す規制基準値を設定する。

表 1.9-3 振動の公害防止条件

区域/時間		昼間	夜間
		午前 8 時～午後 7 時	午後 7 時～午前 8 時
1 種	第 1 種低層住居専用地域 第 2 種低層住居専用地域 第 1 種中高層住居専用地域 第 2 種中高層住居専用地域 第 1 種住居地域 第 2 種住居地域 準住居地域 用途地域の指定のない区域 都市計画区域外（一部地域）	60 dB 以下	55 dB 以下
2 種	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	65 dB 以下	60 dB 以下

出典：「振動規制法に基づく特定工場等において発生する振動についての時間区分及び区域の
区分ごとの規制基準」（平成 24 年 3 月 30 日 朝霞市告示第 90 号）

(4) 悪臭

朝霞市においては悪臭防止法に基づく臭気指数の規制が適用される。計画地は、表 1.9-4 に示す A 区域の基準が適用されるが、現施設の臭気指数規制を「10」としていることから、公害防止条件は「10」とする。

また、特定悪臭物質は、規制基準が定められていないことから、周辺の土地利用状況を考慮し、敷地境界における公害防止条件として表 1.9-5 に示す A 区域の規制基準値を自主規制値として設定する。

事業場の煙突その他の気体発生施設から排出されるものに関しては、新施設は悪臭防止法の排出口における規制基準を公害防止条件とする。

表 1.9-4 臭気指数の公害防止条件

区分	公害防止条件	A 区域	B 区域	C 区域
許容限度（臭気指数）	10	15	18	18

注 1) A 区域は、B 区域及び C 区域を除いた市内全域

B 区域は、農業振興地域整備に関する法律（昭和 44 年法律第 58 号）

第 6 条第 1 項の規定による農業振興地域の指定がされている区域

C 区域は、都市計画法（昭和 44 年法律第 100 号）第 8 条第 1 条第 1

項の規定による工業地域または工業専用地域

出典：「悪臭防止法第三条に規定する規制地域の指定並びに同法第四条第一項第一号、第二号及び第三号に規定する規制基準の設定」（平成 24 年 3 月 30 日 朝霞市告示 92 号）

表 1.9-5 特定悪臭物質の公害防止条件

特定悪臭物質	許容限度 (ppm)		
	A 区域	B 区域	C 区域
アンモニア	1 以下	1 以下	2 以下
メチルメルカプタン	0.002 以下	0.002 以下	0.004 以下
硫化水素	0.02 以下	0.02 以下	0.06 以下
硫化メチル	0.01 以下	0.01 以下	0.05 以下
二硫化メチル	0.009 以下	0.09 以下	0.03 以下
トリメチルアミン	0.005 以下	0.005 以下	0.02 以下
アセトアルデヒド	0.05 以下	0.05 以下	0.1 以下
プロピオンアルデヒド	0.05 以下	0.05 以下	0.1 以下
ノルマルブチルアルデヒド	0.009 以下	0.009 以下	0.03 以下
イソブチルアルデヒド	0.02 以下	0.02 以下	0.07 以下
ノルマルバレルアルデヒド	0.009 以下	0.009 以下	0.02 以下
イソバレルアルデヒド	0.003 以下	0.003 以下	0.006 以下
イソブタノール	0.9 以下	0.9 以下	4 以下
酢酸エチル	3 以下	3 以下	7 以下
メチルイソブチルケトン	1 以下	1 以下	3 以下
トルエン	10 以下	10 以下	30 以下
スチレン	0.4 以下	0.4 以下	0.8 以下
キシレン	1 以下	1 以下	2 以下
プロピオン酸	0.03 以下	0.07 以下	0.07 以下
ノルマル酪酸	0.001 以下	0.02 以下	0.02 以下
ノルマル吉草酸	0.0009 以下	0.02 以下	0.02 以下
イソ吉草酸	0.001 以下	0.04 以下	0.04 以下

出典：「悪臭防止法第三条に規定する規制地域の指定並びに同法第四条第一項第一号、第二号及び第三号に規定する規制基準の設定」（平成9年3月14日 埼玉県告示 336号）

1.9.2 公害防止対策

新施設周辺地域の生活環境への影響を最小限にするため、以下に示す公害防止対策を実施する。

(1) 大気汚染防止

- ① バグフィルタにおいて燃焼ガス中のばいじん、塩化水素・硫黄酸化物の反応生成物、ダイオキシン類吸着物を捕集する。
- ② 窒素酸化物は、適切な燃焼温度を制御するとともに、薬剤の直接噴霧法による低減を図る。
- ③ 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。

(2) 騒音防止

- ① 室内騒音が懸念される場合は、室内の壁を防音壁とする。
- ② 騒音の大きい機器類は、配置位置を十分検討し、騒音の低減を図る。
- ③ 居室等に騒音が伝わりにくくように、必要な箇所には防音扉を設ける。
- ④ 騒音の大きい機器類は、性能を満足する範囲で低騒音型を用いる。
- ⑤ 屋外設置機器に防音対策を施す。
- ⑥ 上記対策を行った上で、さらに騒音の影響を低減する必要がある場合には、遮音壁の設置もしくは同程度の防音対策を講ずる。
- ⑦ 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。

(3) 振動防止

- ① 振動の大きい機器類は、配置位置を十分検討し、振動の低減を図る。
- ② 振動の大きい機器類は、防振構造の据付とする。
- ③ 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。

(4) 悪臭防止

- ① プラットホームの車両入口にエアカーテンを設け、臭気の漏洩を防止する。
- ② プラットホーム及びごみピット内は負圧に保ち、臭気の漏洩を防止する。
- ③ プラットホームの出入口扉の開閉時間を出来るだけ短くする等、日常の維持管理における作業管理に十分な配慮を行う。

第2章 生活環境影響調査項目の選定

2 生活環境影響調査項目の選定

新施設の事業計画及び計画地周辺の土地利用等を踏まえ、施設の整備に係る生活環境影響調査書作成にあたっては、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 平成 18 年 9 月）（以下「指針」という。）を踏まえて、生活環境影響調査項目の抽出・選定、調査対象範囲の設定並びに調査・予測内容の設定を行った。

2.1 生活環境影響調査項目の選定

新施設に関する生活環境影響要因と生活環境影響調査項目との関連を整理し、表 2.1-1 に示すとおり生活環境影響調査項目を抽出・設定した。

調査事項は、施設の稼働に伴って生じる生活環境への影響に関するもので、大気環境に係る大気質、騒音、振動、悪臭及び景観とする。

表 2.1-1 生活環境影響要因と生活環境影響調査項目（焼却施設）

調査事項	生活環境 影響調査項目	生活環境 影響要因	煙突排ガ スの排出	施設排水 の排出	施設の 存在	施設の 稼働	施設から の悪臭の 漏洩	廃棄物 運搬車両 の走行
大気質	二酸化窒素（NO ₂ ）		○					○
	浮遊粒子状物質（SPM）		○					○
	二酸化硫黄（SO ₂ ）		○					
	塩化水素（HCl）		○					
	ダイオキシン類（DXNs）		○					
	水銀（Hg）		○					
騒音	騒音レベル					○		○
	低周波音圧レベル					●		
振動	振動レベル					○		○
悪臭	特定悪臭物質（22 項目）		○				○	
	臭気指数		○				○	
水質	生物化学的酸素要求量（BOD）			×				
	浮遊物質（SS）			×				
	ダイオキシン類（DXNs）			×				
	その他の必要な項目			×				
景観	景観資源				●			
	主要な眺望点からの眺望景観				●			

凡例○：指針で示された標準的な調査項目のうち、影響を及ぼす可能性があるため調査項目として選定する項目。

●：指針で示された標準的な調査項目外であるが、影響を及ぼす可能性があるため調査項目として選定する項目。

×：指針で示された標準的な調査項目のうち、影響を及ぼす可能性が無い又は非常にわずかであるため調査項目として選定しない項目。

2.2 生活環境影響調査項目として選定した項目及びその理由

2.2.1 大気質

(1) 煙突排ガスの排出

廃棄物の焼却に伴い、大気汚染物質を含む排ガスが排出され、周辺地域の生活環境への影響が考えられるため、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、塩化水素、ダイオキシン類、水銀を生活環境影響調査項目として選定した。

(2) 廃棄物運搬車両の走行

廃棄物運搬車両の走行に伴い、大気汚染物質を含む排ガスが排出され、周辺地域の生活環境への影響が考えられるため、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質を生活環境影響調査項目として選定した。

2.2.2 騒音（低周波音を含む）

(1) 施設の稼働

施設の稼働に伴って発生する騒音（低周波音を含む）が周辺地域の生活環境に影響を与えると考えられるため、騒音レベル及び低周波音圧レベルを生活環境影響調査項目として選定した。

(2) 廃棄物運搬車両の走行

廃棄物運搬車両の走行に伴い、騒音が発生し、周辺地域の生活環境への影響が考えられるため、騒音レベルを生活環境影響調査項目として選定した。

2.2.3 振動

(1) 施設の稼働

施設の稼働に伴って発生する振動が周辺地域の生活環境に影響を与えられるため、振動レベルを生活環境影響調査項目として選定した。

(2) 廃棄物運搬車両の走行

廃棄物運搬車両の走行に伴い、振動が発生し、周辺地域の生活環境への影響が考えられるため、振動レベルを生活環境影響調査項目として選定した。

2.2.4 悪臭

(1) 煙突排ガスの排出

廃棄物の焼却に伴う煙突排ガスの排出により、悪臭が発生し、周辺地域の生活

環境への影響が考えられるため、臭気指数及び特定悪臭物質（22 項目）を生活環境影響調査項目として選定した。

（2）施設からの悪臭の発生

施設の稼働に伴い、悪臭が施設から漏洩し、周辺地域の生活環境への影響が考えられるため、臭気指数及び特定悪臭物質（22 項目）を生活環境影響調査項目として選定した。

2.2.5 景観

（1）施設の存在

施設の更新後、建屋及び煙突の存在による眺望景観への影響が考えられるため、景観資源及び主要な眺望点からの眺望景観を生活環境影響調査項目として選定した。

2.3 生活環境影響調査項目として選定しない項目及びその理由

2.3.1 水質

（1）施設排水の排出

新施設のプラント排水及び生活排水は、処理後施設内で再利用し、公共用水域への直接排出を行わない計画としていることから、生活環境影響調査項目として選定しない。

第3章 総合的な評価

3 総合的な評価

3.1 現況把握、予測、影響の分析結果の整理

新施設の内容、経緯、現状及び周辺環境の状況等により、生活環境影響調査項目として選定した大気、騒音、低周波音、振動、悪臭、景観は、いずれの項目についても生活環境の保全上の目標を満足することができ、生活環境へ与える影響は軽微であると評価する。

現況把握、予測及び影響の分析結果の概要は、表 3.1-1～表 3.1-6 に示すとおりである。

表 3.1-1 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（大気質①）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要	影響の分析結果の概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
大気質	煙突排ガスの排出に伴う大気質の影響	（1）大気質の現況把握結果 ①一般環境大気質 二酸化窒素の四季平均値は0.013～0.015ppm、浮遊粒子状物質の四季平均値は0.015～0.018mg/m³、二酸化硫黄の四季平均値は0.001ppm、塩化水素の四季平均値は0.001ppm、ダイオキシン類の四季平均値は0.037～0.085pg-TEQ/m³、水銀の四季平均値は0.0021～0.0023μg/m³であった。 ②沿道環境大気質 二酸化窒素の四季平均値は0.018～0.019ppm、浮遊粒子状物質の四季平均値は0.016～0.017mg/m³であった。 （2）土地利用等の現況把握結果 ①気象の状況 ア.地上気象 最多出現風向は北（N）、月間平均風速は1.6～2.6m/sであった。大気安定度は安定状態を示す「F」が約41%と最も多く出現した。 イ.上層気象 高度25m～700mにかけて北西～北北西の風が多く確認された。 ②土地利用の状況 計画地及びその周辺には低層建物、荒地、河川等が存在している。 ③人家等の状況 計画地及びその周辺には、朝霞市、志木市、新座市、戸田市、さいたま市、和光市の住宅地が存在している。 ④交通量等の状況 騒音の現況把握結果と同様である。	（1）煙突排ガスの排出に伴う大気質の影響 煙突排ガスの排出に伴う大気質の長期濃度（年平均値）、短期濃度（1時間値）の予測結果は、表に示すとおりである。また、長期濃度予測のコンター図は、別添に示すとおりである。 ①長期濃度予測（年平均値） <table><caption>表 長期濃度（年平均値）の予測結果</caption><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>バックグラウンド濃度</th><th>最大着地濃度出現地点の寄与濃度</th><th>最大着地濃度出現地点の将来濃度</th><th>最大着地濃度出現地点</th></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.015</td><td>0.0002550</td><td>0.015</td><td rowspan="6">計画地南側 約 650m 付近</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.018</td><td>0.0000226</td><td>0.018</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.007</td><td>0.0000470</td><td>0.007</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.0000470</td><td>0.001</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.085</td><td>0.0000226</td><td>0.085</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.002</td><td>0.0000680</td><td>0.002</td></tr></table> ※最大着地濃度は計画地南側約650m付近に出現。 ②短期濃度予測（1時間値） <table><caption>表 短期濃度（1時間値）の予測結果</caption><tr><th>区分</th><th>項目</th><th>単位</th><th>バックグラウンド濃度</th><th>最大着地濃度</th><th>将来濃度</th><th>出現地点</th></tr><tr><td rowspan="6">大気安定度 不安定時</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.012</td><td>0.00303</td><td>0.015</td><td rowspan="6">風下側 約 50m</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.015</td><td>0.00061</td><td>0.016</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.00121</td><td>0.002</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.00121</td><td>0.003</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.180</td><td>0.00061</td><td>0.181</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.003</td><td>0.00182</td><td>0.005</td></tr><tr><td rowspan="6">上層逆転層発生時 （リット状態）</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.009</td><td>0.01432</td><td>0.023</td><td rowspan="6">風下側 約 400m</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.015</td><td>0.00286</td><td>0.018</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.00573</td><td>0.007</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.00573</td><td>0.008</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.180</td><td>0.00286</td><td>0.183</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.003</td><td>0.00859</td><td>0.012</td></tr><tr><td rowspan="6">接地逆転層崩壊時 （フュミゲーション）</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.005</td><td>0.01136</td><td>0.016</td><td rowspan="6">風下側 約 189m</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.004</td><td>0.00227</td><td>0.006</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.00454</td><td>0.006</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.00454</td><td>0.007</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.180</td><td>0.00227</td><td>0.182</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.003</td><td>0.00271</td><td>0.006</td></tr><tr><td rowspan="6">・ダウンウォッシュ発生時</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.00475</td><td>0.007</td><td rowspan="6">風下側 約 310m</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.003</td><td>0.00090</td><td>0.004</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.00190</td><td>0.003</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.00190</td><td>0.004</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.180</td><td>0.00090</td><td>0.181</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.003</td><td>0.00271</td><td>0.006</td></tr><tr><td rowspan="6">接地逆転層 非貫通時</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.013</td><td>0.00042</td><td>0.013</td><td rowspan="6">風下側 約 19.5km</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.025</td><td>0.00008</td><td>0.025</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.00017</td><td>0.001</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.00017</td><td>0.002</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.180</td><td>0.00008</td><td>0.180</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.003</td><td>0.00025</td><td>0.003</td></tr></table>	項目	単位	バックグラウンド濃度	最大着地濃度出現地点の寄与濃度	最大着地濃度出現地点の将来濃度	最大着地濃度出現地点	二酸化窒素	ppm	0.015	0.0002550	0.015	計画地南側 約 650m 付近	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.018	0.0000226	0.018	二酸化硫黄	ppm	0.007	0.0000470	0.007	塩化水素	ppm	0.001	0.0000470	0.001	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.085	0.0000226	0.085	水銀	μg/m ³	0.002	0.0000680	0.002	区分	項目	単位	バックグラウンド濃度	最大着地濃度	将来濃度	出現地点	大気安定度 不安定時	二酸化窒素	ppm	0.012	0.00303	0.015	風下側 約 50m	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.015	0.00061	0.016	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00121	0.002	塩化水素	ppm	0.002	0.00121	0.003	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00061	0.181	水銀	μg/m ³	0.003	0.00182	0.005	上層逆転層発生時 （リット状態）	二酸化窒素	ppm	0.009	0.01432	0.023	風下側 約 400m	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.015	0.00286	0.018	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00573	0.007	塩化水素	ppm	0.002	0.00573	0.008	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00286	0.183	水銀	μg/m ³	0.003	0.00859	0.012	接地逆転層崩壊時 （フュミゲーション）	二酸化窒素	ppm	0.005	0.01136	0.016	風下側 約 189m	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.004	0.00227	0.006	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00454	0.006	塩化水素	ppm	0.002	0.00454	0.007	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00227	0.182	水銀	μg/m ³	0.003	0.00271	0.006	・ダウンウォッシュ発生時	二酸化窒素	ppm	0.002	0.00475	0.007	風下側 約 310m	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.003	0.00090	0.004	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00190	0.003	塩化水素	ppm	0.002	0.00190	0.004	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00090	0.181	水銀	μg/m ³	0.003	0.00271	0.006	接地逆転層 非貫通時	二酸化窒素	ppm	0.013	0.00042	0.013	風下側 約 19.5km	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.025	0.00008	0.025	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00017	0.001	塩化水素	ppm	0.002	0.00017	0.002	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00008	0.180	水銀	μg/m ³	0.003	0.00025	0.003	（1）煙突排ガスの排出に伴う大気質の影響 煙突排ガスの排出に伴う大気質の長期濃度（年平均値）、短期濃度（1時間値）の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を下回っており、整合が図られていると評価する。 ①長期濃度（年平均） <table><caption>表 影響の分析結果（長期濃度）</caption><tr><th rowspan="2">項目</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">将来濃度</th><th rowspan="2">目標値</th></tr><tr><th>年平均値</th><th>日平均値</th></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.015</td><td>0.0340</td><td>0.04～0.06 のゾーン内 又はそれ以下</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.018</td><td>0.0451</td><td>0.10 以下</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.007</td><td>0.0089</td><td>0.04 以下</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>-</td><td>0.02 以下</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.085</td><td>-</td><td>0.6 以下</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.002</td><td>-</td><td>0.04 以下</td></tr></table> ②短期濃度（1時間値） <table><caption>表 影響の分析結果（短期濃度）</caption><tr><th>区分</th><th>項目</th><th>単位</th><th>最大着地濃度 出現地点の将来濃度</th><th>目標値</th></tr><tr><td rowspan="6">大気安定度 不安定時</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.015</td><td>0.1</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.016</td><td>0.2</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.1</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.003</td><td>0.02</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.181</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.005</td><td>0.04</td></tr><tr><td rowspan="6">上層逆転層発生時 （リット状態）</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.023</td><td>0.1</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.018</td><td>0.2</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.007</td><td>0.1</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.008</td><td>0.02</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.183</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.012</td><td>0.04</td></tr><tr><td rowspan="6">接地逆転層崩壊時 （フュミゲーション）</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.016</td><td>0.1</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.006</td><td>0.2</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.006</td><td>0.1</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.007</td><td>0.02</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.182</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.006</td><td>0.04</td></tr><tr><td rowspan="6">・ダウンウォッシュ発生時</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.007</td><td>0.1</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.004</td><td>0.2</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.003</td><td>0.1</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.004</td><td>0.02</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.181</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.006</td><td>0.04</td></tr><tr><td rowspan="6">接地逆転層 非貫通時</td><td>二酸化窒素</td><td>ppm</td><td>0.013</td><td>0.1</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>mg/m³</td><td>0.025</td><td>0.2</td></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>ppm</td><td>0.001</td><td>0.1</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>0.002</td><td>0.02</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>pg-TEQ/m³</td><td>0.180</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³</td><td>0.003</td><td>0.04</td></tr></table>	項目	単位	将来濃度		目標値	年平均値	日平均値	二酸化窒素	ppm	0.015	0.0340	0.04～0.06 のゾーン内 又はそれ以下	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.018	0.0451	0.10 以下	二酸化硫黄	ppm	0.007	0.0089	0.04 以下	塩化水素	ppm	0.001	-	0.02 以下	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.085	-	0.6 以下	水銀	μg/m ³	0.002	-	0.04 以下	区分	項目	単位	最大着地濃度 出現地点の将来濃度	目標値	大気安定度 不安定時	二酸化窒素	ppm	0.015	0.1	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.016	0.2	二酸化硫黄	ppm	0.002	0.1	塩化水素	ppm	0.003	0.02	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.181	0.6	水銀	μg/m ³	0.005	0.04	上層逆転層発生時 （リット状態）	二酸化窒素	ppm	0.023	0.1	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.018	0.2	二酸化硫黄	ppm	0.007	0.1	塩化水素	ppm	0.008	0.02	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.183	0.6	水銀	μg/m ³	0.012	0.04	接地逆転層崩壊時 （フュミゲーション）	二酸化窒素	ppm	0.016	0.1	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.006	0.2	二酸化硫黄	ppm	0.006	0.1	塩化水素	ppm	0.007	0.02	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.182	0.6	水銀	μg/m ³	0.006	0.04	・ダウンウォッシュ発生時	二酸化窒素	ppm	0.007	0.1	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.004	0.2	二酸化硫黄	ppm	0.003	0.1	塩化水素	ppm	0.004	0.02	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.181	0.6	水銀	μg/m ³	0.006	0.04	接地逆転層 非貫通時	二酸化窒素	ppm	0.013	0.1	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.025	0.2	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.1	塩化水素	ppm	0.002	0.02	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.6	水銀	μg/m ³	0.003	0.04
項目	単位	バックグラウンド濃度	最大着地濃度出現地点の寄与濃度	最大着地濃度出現地点の将来濃度	最大着地濃度出現地点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
二酸化窒素	ppm	0.015	0.0002550	0.015	計画地南側 約 650m 付近																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.018	0.0000226	0.018																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
二酸化硫黄	ppm	0.007	0.0000470	0.007																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
塩化水素	ppm	0.001	0.0000470	0.001																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.085	0.0000226	0.085																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
水銀	μg/m ³	0.002	0.0000680	0.002																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区分	項目	単位	バックグラウンド濃度	最大着地濃度	将来濃度	出現地点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
大気安定度 不安定時	二酸化窒素	ppm	0.012	0.00303	0.015	風下側 約 50m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.015	0.00061	0.016																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00121	0.002																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	塩化水素	ppm	0.002	0.00121	0.003																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00061	0.181																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水銀	μg/m ³	0.003	0.00182	0.005																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上層逆転層発生時 （リット状態）	二酸化窒素	ppm	0.009	0.01432	0.023	風下側 約 400m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.015	0.00286	0.018																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00573	0.007																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	塩化水素	ppm	0.002	0.00573	0.008																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00286	0.183																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水銀	μg/m ³	0.003	0.00859	0.012																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
接地逆転層崩壊時 （フュミゲーション）	二酸化窒素	ppm	0.005	0.01136	0.016	風下側 約 189m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.004	0.00227	0.006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00454	0.006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	塩化水素	ppm	0.002	0.00454	0.007																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00227	0.182																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水銀	μg/m ³	0.003	0.00271	0.006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ダウンウォッシュ発生時	二酸化窒素	ppm	0.002	0.00475	0.007	風下側 約 310m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.003	0.00090	0.004																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00190	0.003																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	塩化水素	ppm	0.002	0.00190	0.004																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00090	0.181																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水銀	μg/m ³	0.003	0.00271	0.006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
接地逆転層 非貫通時	二酸化窒素	ppm	0.013	0.00042	0.013	風下側 約 19.5km																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.025	0.00008	0.025																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.00017	0.001																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	塩化水素	ppm	0.002	0.00017	0.002																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.00008	0.180																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	水銀	μg/m ³	0.003	0.00025	0.003																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
項目	単位	将来濃度		目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		年平均値	日平均値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
二酸化窒素	ppm	0.015	0.0340	0.04～0.06 のゾーン内 又はそれ以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.018	0.0451	0.10 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
二酸化硫黄	ppm	0.007	0.0089	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
塩化水素	ppm	0.001	-	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.085	-	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
水銀	μg/m ³	0.002	-	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区分	項目	単位	最大着地濃度 出現地点の将来濃度	目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
大気安定度 不安定時	二酸化窒素	ppm	0.015	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.016	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	二酸化硫黄	ppm	0.002	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	塩化水素	ppm	0.003	0.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.181	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	水銀	μg/m ³	0.005	0.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
上層逆転層発生時 （リット状態）	二酸化窒素	ppm	0.023	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.018	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	二酸化硫黄	ppm	0.007	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	塩化水素	ppm	0.008	0.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.183	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	水銀	μg/m ³	0.012	0.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
接地逆転層崩壊時 （フュミゲーション）	二酸化窒素	ppm	0.016	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.006	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	二酸化硫黄	ppm	0.006	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	塩化水素	ppm	0.007	0.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.182	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	水銀	μg/m ³	0.006	0.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ダウンウォッシュ発生時	二酸化窒素	ppm	0.007	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.004	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	二酸化硫黄	ppm	0.003	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	塩化水素	ppm	0.004	0.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.181	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	水銀	μg/m ³	0.006	0.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
接地逆転層 非貫通時	二酸化窒素	ppm	0.013	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.025	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	塩化水素	ppm	0.002	0.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.180	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	水銀	μg/m ³	0.003	0.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

表 3.1-2 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（大気質②）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要							影響の分析結果の概要						
大気質	廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の影響	同上	(2) 廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の影響 廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の予測結果は、表に示すとおりである。							(2) 廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の影響 廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を下回っており、整合が図られていると評価する。						
			表 廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の予測結果							表 影響の分析（廃棄物運搬車両の走行に伴う影響）						
			予測地点	項目	方向	バックグラウンド濃度 (①)	寄与濃度 (一般車両+廃棄物運搬車両（不燃等）） (②)	寄与濃度 (廃棄物運搬車両（可燃）） (③)	将来濃度 (④=①+②+③)	予測地点	項目	方向	将来濃度		目標値	
													年平均値	日平均値		
			沿大 No.1	二酸化窒素 (ppm)	南側	0.018	0.00070	0.000005	0.019	沿大 No.1	二酸化窒素 (ppm)	南側	0.019	0.034	0.04～0.06 のゾーン内 又はそれ以下	
					北側		0.00040	0.000003	0.018			北側	0.018	0.033		
				浮遊粒子状物質 (mg/m³)	南側	0.017	0.00011	0.000002	0.017		浮遊粒子状物質 (mg/m³)	南側	0.017	0.046	0.10 以下	
					北側		0.00006	0.000001	0.017			北側	0.017	0.046		
			沿大 No.2	二酸化窒素 (ppm)	西側	0.019	0.00050	0.000009	0.020	沿大 No.2	二酸化窒素 (ppm)	南側	0.020	0.035	0.04～0.06 のゾーン内 又はそれ以下	
					東側		0.00040	0.000006	0.019			北側	0.019	0.034		
				浮遊粒子状物質 (mg/m³)	西側	0.016	0.00006	0.000003	0.016		浮遊粒子状物質 (mg/m³)	南側	0.016	0.045	0.10 以下	
					東側		0.00011	0.000002	0.016			北側	0.016	0.045		

表 3.1-3 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（騒音①）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要	影響の分析結果の概要																																																																																											
騒音・低周波音	施設の稼働に伴う騒音の影響	（1）騒音・低周波音の現況把握結果 調査結果は、表に示すとおりである。 <table><caption>表 環境騒音調査結果</caption><tr><th rowspan="2">地点番号</th><th colspan="4">騒音レベル（dB） LA5の最大値</th><th rowspan="2">規制基準</th></tr><tr><th>朝</th><th>昼間</th><th>夕方</th><th>夜間</th></tr><tr><td>騒振No.1</td><td>62</td><td>63</td><td>60</td><td>60</td><td rowspan="2">朝・夕：50 昼間：55 夜間：45</td></tr><tr><td>騒振No.2</td><td>59</td><td>67</td><td>58</td><td>58</td></tr></table> 注1）時間区分：朝：6時～8時、昼間：8時～19時、 夕方：19時～22時、夜間：22時～翌6時 注2）規制基準は騒音規制法に基づく第2種区域の値。 <table><caption>表 低周波音調査結果</caption> 単位：dB <tr><th rowspan="2">地点番号</th><th colspan="3">G 特性 1～80Hz</th><th rowspan="2">参照値※</th></tr><tr><th>範囲</th><th>最大となる時刻</th><th></th></tr><tr><td>騒振No.1</td><td>75～89</td><td>3 時、4 時、19 時</td><td rowspan="2">92</td></tr><tr><td>騒振No.2</td><td>70～80</td><td>10 時、17 時、4 時</td></tr></table> ※出典：「低周波音問題対応の手引書」（平成16年6月 環境省） <table><caption>表 道路交通騒音調査結果</caption><tr><th rowspan="2">地点番号</th><th colspan="2">騒音レベル（dB） LAeqの平均値</th><th colspan="2">環境基準</th></tr><tr><th>昼間</th><th>夜間</th><th>昼間</th><th>夜間</th></tr><tr><td>騒振No.3</td><td>69</td><td>63</td><td>70^{注2）}</td><td>65^{注2）}</td></tr><tr><td>騒振No.4</td><td>69</td><td>64</td><td>65</td><td>60</td></tr></table> 注1）環境基準は道路に面する地域の地域類型Bの値。 注2）騒振No.3は幹線道路のため、「幹線道路近接空間に関する特例」の基準値を適用している。 注3）時間区分：昼間：6 時～22 時、夜間：22 時～翌6 時 （2）土地利用等の現況把握結果 ①土地利用の状況 計画地及びその周辺は用途地域の定めのない地域となっている。 ②人家等の状況 人家等の状況は、計画地北西側約50mに人家、畜舎、北東側約150mに内間木公園が存在する。 ③主要な発生源の状況 現施設や産業廃棄物処理施設（中間処理施設）、JR武蔵野線等が点在する。 ④交通量等の状況 主要な走行ルート沿道の交通量は、騒振No.3においては11,403台/日、騒振No.4においては、9,091台/日であった。	地点番号	騒音レベル（dB） LA5の最大値				規制基準	朝	昼間	夕方	夜間	騒振No.1	62	63	60	60	朝・夕：50 昼間：55 夜間：45	騒振No.2	59	67	58	58	地点番号	G 特性 1～80Hz			参照値※	範囲	最大となる時刻		騒振No.1	75～89	3 時、4 時、19 時	92	騒振No.2	70～80	10 時、17 時、4 時	地点番号	騒音レベル（dB） LAeqの平均値		環境基準		昼間	夜間	昼間	夜間	騒振No.3	69	63	70 ^{注2）}	65 ^{注2）}	騒振No.4	69	64	65	60	（1）施設の稼働に伴う騒音の影響 騒音の予測結果は、表に示すとおりである。また、施設稼働に伴う騒音のコンター図は、別添に示す通りである。 予測結果は、計画地東側敷地境界付近で最大45dBであった。 <table><caption>表 施設の稼働に伴う騒音（LA5）の予測結果</caption> 単位：dB <tr><th>予測地点</th><th>時間区分</th><th>予測結果</th></tr><tr><td>計画地東側敷地境界付近</td><td>朝・昼間・夕・夜間</td><td>45</td></tr></table> 注）時間区分は以下のとおり 朝：6時～8時、昼間：8時～19時、 夕：19時～22時、夜間：22時～翌6時 （2）施設の稼働に伴う低周波音の影響 現施設のG特性音圧レベルは70～89dBであり、参照値である92dBを下回っていた。新施設では、低周波音の発生源である誘引通風機等の設備機器を敷地境界から隔離する計画であり、70～89dB程度になると予測される。 <table><caption>表 施設の稼働に伴う低周波音の予測結果</caption> 単位：dB <tr><th rowspan="2">地点番号</th><th colspan="2">G 特性 1～80Hz</th></tr><tr><th>予測結果</th><th>参照値</th></tr><tr><td>騒振No.1</td><td>75～89</td><td rowspan="2">92</td></tr><tr><td>騒振No.2</td><td>70～80</td></tr></table>	予測地点	時間区分	予測結果	計画地東側敷地境界付近	朝・昼間・夕・夜間	45	地点番号	G 特性 1～80Hz		予測結果	参照値	騒振No.1	75～89	92	騒振No.2	70～80	（1）施設の稼働に伴う騒音の影響 施設の稼働に伴う騒音の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を超過しないため、整合が図られていると評価する。 <table><caption>表 影響の分析結果（施設の稼働に伴う騒音の影響）</caption> 単位：dB <tr><th>予測地点</th><th>時間区分</th><th>予測結果</th><th>目標値</th><th>整合性</th></tr><tr><td>計画地東側敷地境界付近</td><td>朝・昼間・夕・夜間</td><td>45</td><td>昼間：55 朝・夕：50 夜間：45</td><td>○</td></tr></table> 注）○：整合が図られている。 （2）施設の稼働に伴う低周波音の影響 施設の稼働に伴う低周波音の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を超過しないため、整合が図られていると評価する。 <table><caption>表 影響の分析結果（施設の稼働に伴う低周波音の影響）</caption><tr><th>予測地点</th><th>予測結果（dB）</th><th>目標値（dB）</th><th>整合性</th></tr><tr><td>騒振 No.1</td><td>75～89</td><td rowspan="2">92</td><td rowspan="2">○</td></tr><tr><td>騒振 No.2</td><td>70～80</td></tr></table> 注）○：整合が図られている。	予測地点	時間区分	予測結果	目標値	整合性	計画地東側敷地境界付近	朝・昼間・夕・夜間	45	昼間：55 朝・夕：50 夜間：45	○	予測地点	予測結果（dB）	目標値（dB）	整合性	騒振 No.1	75～89	92	○	騒振 No.2	70～80
		地点番号		騒音レベル（dB） LA5の最大値					規制基準																																																																																						
			朝	昼間	夕方	夜間																																																																																									
		騒振No.1	62	63	60	60	朝・夕：50 昼間：55 夜間：45																																																																																								
騒振No.2	59	67	58	58																																																																																											
地点番号	G 特性 1～80Hz			参照値※																																																																																											
	範囲	最大となる時刻																																																																																													
騒振No.1	75～89	3 時、4 時、19 時	92																																																																																												
騒振No.2	70～80	10 時、17 時、4 時																																																																																													
地点番号	騒音レベル（dB） LAeqの平均値		環境基準																																																																																												
	昼間	夜間	昼間	夜間																																																																																											
騒振No.3	69	63	70 ^{注2）}	65 ^{注2）}																																																																																											
騒振No.4	69	64	65	60																																																																																											
予測地点	時間区分	予測結果																																																																																													
計画地東側敷地境界付近	朝・昼間・夕・夜間	45																																																																																													
地点番号	G 特性 1～80Hz																																																																																														
	予測結果	参照値																																																																																													
騒振No.1	75～89	92																																																																																													
騒振No.2	70～80																																																																																														
予測地点	時間区分	予測結果	目標値	整合性																																																																																											
計画地東側敷地境界付近	朝・昼間・夕・夜間	45	昼間：55 朝・夕：50 夜間：45	○																																																																																											
予測地点	予測結果（dB）	目標値（dB）	整合性																																																																																												
騒振 No.1	75～89	92	○																																																																																												
騒振 No.2	70～80																																																																																														

表 3.1-4 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（騒音②）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要	影響の分析結果の概要																																																
	廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響	同上	廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の予測結果は、表に示すとおりである。 予測結果は、廃棄物運搬車両の主要走行ルート沿道2地点で69～70dBであり、廃棄物運搬車両による騒音レベルの増分は0.1dB未満であった。 表 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音（L_{Aeq}）の予測結果 <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th rowspan="2">時間区分</th><th rowspan="2">方向</th><th colspan="3">騒音レベル（dB）</th></tr><tr><th>現況の道路交通騒音（①）</th><th>将来の道路交通騒音（②）</th><th>廃棄物運搬車両（可燃）の走行による増分（③=②-①）</th></tr><tr><td rowspan="2">騒振No.3</td><td rowspan="4">昼間</td><td>南側</td><td>69</td><td>69</td><td>0.1 未満</td></tr><tr><td>北側</td><td>70^{※1}</td><td>70</td><td>0.1 未満</td></tr><tr><td>西側</td><td>69</td><td>69</td><td>0.1 未満</td></tr><tr><td>東側</td><td>69^{※1}</td><td>69</td><td>0.1 未満</td></tr></table> 注）時間区分は以下のとおり 昼間：6 時～22 時 ※1）現況の道路交通騒音を測定していない側であることから、現況の車両交通量及び道路交通騒音の調査結果に基づき、ASJ RTN-model 2013 を用いて推定した値である。	予測地点	時間区分	方向	騒音レベル（dB）			現況の道路交通騒音（①）	将来の道路交通騒音（②）	廃棄物運搬車両（可燃）の走行による増分（③=②-①）	騒振No.3	昼間	南側	69	69	0.1 未満	北側	70 ^{※1}	70	0.1 未満	西側	69	69	0.1 未満	東側	69 ^{※1}	69	0.1 未満	廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、生活環境の保全上の目標と同程度もしくは下回っており、整合が図られていると評価する。 表 影響の分析結果（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響） <table><tr><th>予測地点</th><th>方向</th><th>将来の道路交通騒音（dB）</th><th>目標値（dB）</th><th>整合性</th></tr><tr><td rowspan="2">騒振No.3</td><td>南側</td><td>69</td><td rowspan="2">昼間：70</td><td>○</td></tr><tr><td>北側</td><td>70</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">騒振No.4</td><td>西側</td><td>69</td><td rowspan="2">昼間：65</td><td>○</td></tr><tr><td>東側</td><td>69</td><td>○</td></tr></table> 注）○：整合が図られている。	予測地点	方向	将来の道路交通騒音（dB）	目標値（dB）	整合性	騒振No.3	南側	69	昼間：70	○	北側	70	○	騒振No.4	西側	69	昼間：65	○	東側	69	○
予測地点	時間区分	方向	騒音レベル（dB）																																																	
			現況の道路交通騒音（①）	将来の道路交通騒音（②）	廃棄物運搬車両（可燃）の走行による増分（③=②-①）																																															
騒振No.3	昼間	南側	69	69	0.1 未満																																															
		北側	70 ^{※1}	70	0.1 未満																																															
西側		69	69	0.1 未満																																																
東側		69 ^{※1}	69	0.1 未満																																																
予測地点	方向	将来の道路交通騒音（dB）	目標値（dB）	整合性																																																
騒振No.3	南側	69	昼間：70	○																																																
	北側	70		○																																																
騒振No.4	西側	69	昼間：65	○																																																
	東側	69		○																																																

表 3.1-5 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（振動）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要	影響の分析結果の概要																																																																		
振動	施設の稼働に伴う振動の影響	（1）振動の現況把握結果 調査結果は、表に示すとおりである。 調査の結果、環境振動（L₁₀）は、昼間が39dB、夜間が29～40dBであり、振動規制法をつく規制基準を下回っていた。道路交通振動（L₁₀）は、昼間44～50dB、夜間35～39dBであり、振動規制法に基づく要請限度を下回っていた。 <table><caption>表 環境振動調査結果</caption><tr><th rowspan="2">地点番号</th><th colspan="2">振動レベル（dB） L₁₀の平均値</th><th rowspan="2">規制基準</th></tr><tr><th>昼間</th><th>夜間</th></tr><tr><td>騒振No.1</td><td>39</td><td>40</td><td>昼間：60 夜間：55</td></tr><tr><td>騒振No.2</td><td>39</td><td>29</td><td></td></tr></table> 注1）時間区分：昼間8時～19時、夜間19時～翌8時 注2）規制基準は、振動規制法に基づく第一種区域の値。	地点番号	振動レベル（dB） L ₁₀ の平均値		規制基準	昼間	夜間	騒振No.1	39	40	昼間：60 夜間：55	騒振No.2	39	29		施設の稼働に伴う振動の予測結果は、表に示すとおりである。また、施設稼働に伴う振動のコンター図は、別添に示す通りである。 予測結果は、計画地東側敷地境界付近で昼間最大51dBであった。 <table><caption>表 施設の稼働に伴う振動（L₁₀）の予測結果</caption> 単位：dB <tr><th>予測地点</th><th>時間区分</th><th>予測結果</th></tr><tr><td>計画地東側敷地境界付近</td><td>昼間・夜間</td><td>51</td></tr></table> 注）時間区分は以下のとおり 昼間：8時～19時、夜間：19時～翌8時	予測地点	時間区分	予測結果	計画地東側敷地境界付近	昼間・夜間	51	施設の稼働に伴う振動の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を下回っており、整合が図られていると評価する。 <table><caption>表 影響の分析結果（施設の稼働に伴う振動の影響）</caption> 単位：dB <tr><th>予測地点</th><th>時間区分</th><th>予測結果</th><th>目標値</th><th>整合性</th></tr><tr><td>計画地東側敷地境界付近</td><td>昼間・夜間</td><td>51</td><td>昼間：60 夜間：55</td><td>○</td></tr></table> 注）○：整合が図られている。	予測地点	時間区分	予測結果	目標値	整合性	計画地東側敷地境界付近	昼間・夜間	51	昼間：60 夜間：55	○																																				
	地点番号	振動レベル（dB） L ₁₀ の平均値		規制基準																																																																		
昼間		夜間																																																																				
騒振No.1	39	40	昼間：60 夜間：55																																																																			
騒振No.2	39	29																																																																				
予測地点	時間区分	予測結果																																																																				
計画地東側敷地境界付近	昼間・夜間	51																																																																				
予測地点	時間区分	予測結果	目標値	整合性																																																																		
計画地東側敷地境界付近	昼間・夜間	51	昼間：60 夜間：55	○																																																																		
	廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の影響	<table><caption>表 道路交通振動調査結果</caption><tr><th rowspan="2">地点番号</th><th colspan="2">振動レベル（dB） L₁₀の平均値</th><th colspan="2">要請限度</th></tr><tr><th>昼間</th><th>夜間</th><th>昼間</th><th>夜間</th></tr><tr><td>騒振No.3</td><td>44</td><td>35</td><td rowspan="2">60</td><td rowspan="2">55</td></tr><tr><td>騒振No.4</td><td>50</td><td>39</td></tr></table> 注1）時間区分：昼間8時～19時、夜間19時～翌8時 注2）要請限度は、振動規制法に基づく第一種区域の値。 （2）土地利用等の現況把握結果 ①土地利用の状況 騒音の現況把握結果と同様である。 ②人家等の状況 騒音の現況把握結果と同様である。 ③主要な発生源の状況 騒音の現況把握結果と同様である。 ④交通量等の状況 騒音の現況把握結果と同様である。 ⑤地盤性状の状況 計画地の表層はN値が低く、軟弱地盤と判断される。	地点番号	振動レベル（dB） L ₁₀ の平均値		要請限度		昼間	夜間	昼間	夜間	騒振No.3	44	35	60	55	騒振No.4	50	39	廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の予測結果は、表に示すとおりである。 予測結果は、廃棄物運搬車両の主要走行ルート沿道2地点で46～53dBであり、廃棄物運搬車両による振動レベルの増分は0.1未満～0.1dBであった。 <table><caption>表 廃棄物運搬車両の走行に伴う振動（L₁₀）の予測結果</caption><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th rowspan="2">時間区分</th><th rowspan="2">方向</th><th colspan="3">振動レベル（dB）</th></tr><tr><th>現況の 道路交通振動 （①）</th><th>将来の 道路交通振動 （②）</th><th>廃棄物運搬 車両（可燃）の 走行による増分 （③=②-①）</th></tr><tr><td rowspan="2">騒振No.3</td><td rowspan="4">昼間</td><td>南側</td><td>46</td><td>46</td><td>0.1</td></tr><tr><td>北側</td><td>46※1</td><td>46</td><td>0.1</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">騒振No.4</td><td>西側</td><td>53</td><td>53</td><td>0.1 未満</td></tr><tr><td>東側</td><td>53※1</td><td>53</td><td>0.1 未満</td></tr></table> ※1）現況の道路交通振動を測定していない側であることから、現況の車両交通量及び道路交通振動の調査結果に基づき、道路環境影響評価の技術手法に示される「振動レベルの80パーセントレンジの上端値を予測するための式」を用いて推定した値である。	予測地点	時間区分	方向	振動レベル（dB）			現況の 道路交通振動 （①）	将来の 道路交通振動 （②）	廃棄物運搬 車両（可燃）の 走行による増分 （③=②-①）	騒振No.3	昼間	南側	46	46	0.1	北側	46※1	46	0.1	騒振No.4		西側	53	53	0.1 未満	東側	53※1	53	0.1 未満	廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を下回っており、整合が図られていると評価する。 <table><caption>表 影響の分析結果（廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の影響）</caption><tr><th>予測地点</th><th>方向</th><th>将来の 道路交通振動 （dB）</th><th>目標値 （dB）</th><th>整合性</th></tr><tr><td rowspan="2">騒振No.3</td><td>南側</td><td>46</td><td rowspan="4">昼間：60</td><td>○</td></tr><tr><td>北側</td><td>46</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">騒振No.4</td><td>西側</td><td>53</td><td>○</td></tr><tr><td>東側</td><td>53</td><td>○</td></tr></table> 注）○：整合が図られている。	予測地点	方向	将来の 道路交通振動 （dB）	目標値 （dB）	整合性	騒振No.3	南側	46	昼間：60	○	北側	46	○	騒振No.4	西側	53	○	東側	53	○
地点番号	振動レベル（dB） L ₁₀ の平均値			要請限度																																																																		
	昼間	夜間	昼間	夜間																																																																		
騒振No.3	44	35	60	55																																																																		
騒振No.4	50	39																																																																				
予測地点	時間区分	方向	振動レベル（dB）																																																																			
			現況の 道路交通振動 （①）	将来の 道路交通振動 （②）	廃棄物運搬 車両（可燃）の 走行による増分 （③=②-①）																																																																	
騒振No.3	昼間	南側	46	46	0.1																																																																	
		北側	46※1	46	0.1																																																																	
騒振No.4		西側	53	53	0.1 未満																																																																	
		東側	53※1	53	0.1 未満																																																																	
予測地点	方向	将来の 道路交通振動 （dB）	目標値 （dB）	整合性																																																																		
騒振No.3	南側	46	昼間：60	○																																																																		
	北側	46		○																																																																		
騒振No.4	西側	53		○																																																																		
	東側	53		○																																																																		

表 3.1-6 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（悪臭）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要	影響の分析結果の概要																																																																																																																																																																																																												
悪臭	煙突排ガスの排出に伴う悪臭の影響	（１）悪臭の現況把握結果 臭気指数は、いずれの地点においても10未満であり、悪臭防止法に基づく基準値を下回った。特定悪臭物質濃度は、全ての項目が定量下限値未満であり、悪臭防止法に基づき設定した参考値を下回った。 （２）土地利用等の現況把握結果 ①土地利用の状況 大気質の現況把握結果と同様である。 ②気象の状況 計画地の2地点の気象の状況は、風向が北東、南南東、風速が1.5～2.5m/s、気温が26.4℃、湿度が66～72%であった。 ③人家等の状況 大気質の現況把握結果と同様である。 ④主要な発生源の状況 ア.既存資料調査 現施設、プラスチック類処理施設や産業廃棄物処理施設（中間処理施設）、近隣の畜舎等が点在する。 イ.現地調査（煙突試料採取口） 煙突における調査結果は、臭気指数が15～16、特定悪臭物質はほとんどの項目が定量下現値未満であった。	煙突排ガスの排出に伴う悪臭の予測結果は、表に示すとおりである。 予測結果は、臭気指数が10未満であり、特定悪臭物質濃度は臭気強度2.5未満に該当する濃度であった。 表 煙突排ガスの排出に伴う悪臭の予測結果 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>単位</th><th>予測地点</th><th>予測結果</th></tr><tr><td colspan="2">臭気指数</td><td>-</td><td></td><td>10 未満</td></tr><tr><td rowspan="22">特定悪臭物質</td><td>アンモニア</td><td>ppm</td><td rowspan="22">風下側約540m</td><td><1</td></tr><tr><td>メチルメルカブタン</td><td>ppm</td><td><0.002</td></tr><tr><td>硫化水素</td><td>ppm</td><td><0.02</td></tr><tr><td>硫化メチル</td><td>ppm</td><td><0.01</td></tr><tr><td>二硫化メチル</td><td>ppm</td><td><0.009</td></tr><tr><td>トリメチルアミン</td><td>ppm</td><td><0.005</td></tr><tr><td>アセトアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.05</td></tr><tr><td>プロピオンアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.05</td></tr><tr><td>ノルマルブチルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.009</td></tr><tr><td>イソブチルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.02</td></tr><tr><td>ノルマルバレルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.009</td></tr><tr><td>イソバレルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.003</td></tr><tr><td>イソブタノール</td><td>ppm</td><td><0.9</td></tr><tr><td>酢酸エチル</td><td>ppm</td><td><3</td></tr><tr><td>メチルイソブチルケトン</td><td>ppm</td><td><1</td></tr><tr><td>トルエン</td><td>ppm</td><td><1×10</td></tr><tr><td>スチレン</td><td>ppm</td><td><0.4</td></tr><tr><td>キシレン</td><td>ppm</td><td><1</td></tr><tr><td>プロピオン酸</td><td>ppm</td><td><0.03</td></tr><tr><td>ノルマル酪酸</td><td>ppm</td><td><0.001</td></tr><tr><td>ノルマル吉草酸</td><td>ppm</td><td><0.0009</td></tr><tr><td>イソ吉草酸</td><td>ppm</td><td><0.001</td></tr></table>	項目		単位	予測地点	予測結果	臭気指数		-		10 未満	特定悪臭物質	アンモニア	ppm	風下側約540m	<1	メチルメルカブタン	ppm	<0.002	硫化水素	ppm	<0.02	硫化メチル	ppm	<0.01	二硫化メチル	ppm	<0.009	トリメチルアミン	ppm	<0.005	アセトアルデヒド	ppm	<0.05	プロピオンアルデヒド	ppm	<0.05	ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.009	イソブチルアルデヒド	ppm	<0.02	ノルマルバレルアルデヒド	ppm	<0.009	イソバレルアルデヒド	ppm	<0.003	イソブタノール	ppm	<0.9	酢酸エチル	ppm	<3	メチルイソブチルケトン	ppm	<1	トルエン	ppm	<1×10	スチレン	ppm	<0.4	キシレン	ppm	<1	プロピオン酸	ppm	<0.03	ノルマル酪酸	ppm	<0.001	ノルマル吉草酸	ppm	<0.0009	イソ吉草酸	ppm	<0.001	煙突排ガスの排出に伴う悪臭の予測結果と生活環境の保全上の目標との整合に係る影響の分析結果は、表に示すとおりである。予測結果は、目標値を下回っており、整合が図られていると評価する。 表 影響の分析結果（煙突排ガスの排出に伴う悪臭の影響） <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>単位</th><th>予測地点</th><th>予測結果</th><th>目標値</th><th>整合性</th></tr><tr><td colspan="2">臭気指数</td><td>-</td><td></td><td>10 未満</td><td>10 以下</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="23">特定悪臭物質</td><td>アンモニア</td><td>ppm</td><td rowspan="23">風下側約540m</td><td><1</td><td>1 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>メチルメルカブタン</td><td>ppm</td><td><0.002</td><td>0.002 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>硫化水素</td><td>ppm</td><td><0.02</td><td>0.02 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>硫化メチル</td><td>ppm</td><td><0.01</td><td>0.01 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>二硫化メチル</td><td>ppm</td><td><0.009</td><td>0.009 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>トリメチルアミン</td><td>ppm</td><td><0.005</td><td>0.005 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>アセトアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.05</td><td>0.05 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>プロピオンアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.05</td><td>0.05 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>ノルマルブチルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.009</td><td>0.009 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>イソブチルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.02</td><td>0.02 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>ノルマルバレルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.009</td><td>0.009 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>イソバレルアルデヒド</td><td>ppm</td><td><0.003</td><td>0.003 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>イソブタノール</td><td>ppm</td><td><0.9</td><td>0.9 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>酢酸エチル</td><td>ppm</td><td><3</td><td>3 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>メチルイソブチルケトン</td><td>ppm</td><td><1</td><td>1 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>トルエン</td><td>ppm</td><td><1×10</td><td>10 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>スチレン</td><td>ppm</td><td><0.4</td><td>0.4 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>キシレン</td><td>ppm</td><td><1</td><td>1 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>プロピオン酸</td><td>ppm</td><td><0.03</td><td>0.03 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>ノルマル酪酸</td><td>ppm</td><td><0.001</td><td>0.001 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>ノルマル吉草酸</td><td>ppm</td><td><0.0009</td><td>0.0009 以下</td><td>○</td></tr><tr><td>イソ吉草酸</td><td>ppm</td><td><0.001</td><td>0.001 以下</td><td>○</td></tr></table> 注）○：整合性が図られている。	項目		単位	予測地点	予測結果	目標値	整合性	臭気指数		-		10 未満	10 以下	○	特定悪臭物質	アンモニア	ppm	風下側約540m	<1	1 以下	○	メチルメルカブタン	ppm	<0.002	0.002 以下	○	硫化水素	ppm	<0.02	0.02 以下	○	硫化メチル	ppm	<0.01	0.01 以下	○	二硫化メチル	ppm	<0.009	0.009 以下	○	トリメチルアミン	ppm	<0.005	0.005 以下	○	アセトアルデヒド	ppm	<0.05	0.05 以下	○	プロピオンアルデヒド	ppm	<0.05	0.05 以下	○	ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.009	0.009 以下	○	イソブチルアルデヒド	ppm	<0.02	0.02 以下	○	ノルマルバレルアルデヒド	ppm	<0.009	0.009 以下	○	イソバレルアルデヒド	ppm	<0.003	0.003 以下	○	イソブタノール	ppm	<0.9	0.9 以下	○	酢酸エチル	ppm	<3	3 以下	○	メチルイソブチルケトン	ppm	<1	1 以下	○	トルエン	ppm	<1×10	10 以下	○	スチレン	ppm	<0.4	0.4 以下	○	キシレン	ppm	<1	1 以下	○	プロピオン酸	ppm	<0.03	0.03 以下	○	ノルマル酪酸	ppm	<0.001	0.001 以下	○	ノルマル吉草酸	ppm	<0.0009	0.0009 以下	○	イソ吉草酸	ppm	<0.001	0.001 以下	○
	項目		単位	予測地点	予測結果																																																																																																																																																																																																											
臭気指数		-		10 未満																																																																																																																																																																																																												
特定悪臭物質	アンモニア	ppm	風下側約540m	<1																																																																																																																																																																																																												
	メチルメルカブタン	ppm		<0.002																																																																																																																																																																																																												
	硫化水素	ppm		<0.02																																																																																																																																																																																																												
	硫化メチル	ppm		<0.01																																																																																																																																																																																																												
	二硫化メチル	ppm		<0.009																																																																																																																																																																																																												
	トリメチルアミン	ppm		<0.005																																																																																																																																																																																																												
	アセトアルデヒド	ppm		<0.05																																																																																																																																																																																																												
	プロピオンアルデヒド	ppm		<0.05																																																																																																																																																																																																												
	ノルマルブチルアルデヒド	ppm		<0.009																																																																																																																																																																																																												
	イソブチルアルデヒド	ppm		<0.02																																																																																																																																																																																																												
	ノルマルバレルアルデヒド	ppm		<0.009																																																																																																																																																																																																												
	イソバレルアルデヒド	ppm		<0.003																																																																																																																																																																																																												
	イソブタノール	ppm		<0.9																																																																																																																																																																																																												
	酢酸エチル	ppm		<3																																																																																																																																																																																																												
	メチルイソブチルケトン	ppm		<1																																																																																																																																																																																																												
	トルエン	ppm		<1×10																																																																																																																																																																																																												
	スチレン	ppm		<0.4																																																																																																																																																																																																												
	キシレン	ppm		<1																																																																																																																																																																																																												
	プロピオン酸	ppm		<0.03																																																																																																																																																																																																												
	ノルマル酪酸	ppm		<0.001																																																																																																																																																																																																												
	ノルマル吉草酸	ppm		<0.0009																																																																																																																																																																																																												
	イソ吉草酸	ppm		<0.001																																																																																																																																																																																																												
項目		単位	予測地点	予測結果	目標値	整合性																																																																																																																																																																																																										
臭気指数		-		10 未満	10 以下	○																																																																																																																																																																																																										
特定悪臭物質	アンモニア	ppm	風下側約540m	<1	1 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	メチルメルカブタン	ppm		<0.002	0.002 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	硫化水素	ppm		<0.02	0.02 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	硫化メチル	ppm		<0.01	0.01 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	二硫化メチル	ppm		<0.009	0.009 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	トリメチルアミン	ppm		<0.005	0.005 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	アセトアルデヒド	ppm		<0.05	0.05 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	プロピオンアルデヒド	ppm		<0.05	0.05 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	ノルマルブチルアルデヒド	ppm		<0.009	0.009 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	イソブチルアルデヒド	ppm		<0.02	0.02 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	ノルマルバレルアルデヒド	ppm		<0.009	0.009 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	イソバレルアルデヒド	ppm		<0.003	0.003 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	イソブタノール	ppm		<0.9	0.9 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	酢酸エチル	ppm		<3	3 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	メチルイソブチルケトン	ppm		<1	1 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	トルエン	ppm		<1×10	10 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	スチレン	ppm		<0.4	0.4 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	キシレン	ppm		<1	1 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	プロピオン酸	ppm		<0.03	0.03 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	ノルマル酪酸	ppm		<0.001	0.001 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	ノルマル吉草酸	ppm		<0.0009	0.0009 以下	○																																																																																																																																																																																																										
	イソ吉草酸	ppm		<0.001	0.001 以下	○																																																																																																																																																																																																										
		施設からの漏洩による悪臭の影響			本事業では、「エアカーテンによるプラットホームからの漏洩防止」、「ごみピットからの漏洩防止」、「プラットホームの出入口扉の開閉時間を短くする」を計画しており、これらの対策を適切に講じることにより、影響は小さいと予測される。	本事業では、公害防止対策として「エアカーテンによるプラットホームからの漏洩防止」、「ごみピットからの漏洩防止」、「プラットホームの出入口扉の開閉時間を短くする」を計画しており、生活環境への影響は実行可能な範囲で出来る限り回避または低減されるため、目標値との整合は図られている。																																																																																																																																																																																																										

表 3.1-7 現況把握、予測及び影響の分析結果の概要（景観）

環境要素	環境影響要因	現況把握結果の概要	予測結果の概要	影響の分析結果の概要																						
景観	施設の有在による景観への影響	（1）景観の現況把握結果 ①景観特性の状況 朝霞市の景観特性として、「水と緑が一体となった骨格的な景観」、「変化に富んだ地形が作り出す坂道や見晴らしの景観」、「基地跡地の緑豊かでゆとりとにぎわいを感じる景観」、「身近な水と緑が織り成す潤いを感じる景観」が挙げられる。 ②景観資源の状況 「朝霞市景観計画」には、主な歴史的な資源として40箇所が列記されている。また、黒目川等の河川とその周辺の斜面林、緑地等が構成する景観が景観資源とされている。また、埼玉県の「景観資源データベースシステム」には、調査地域内の景観資源として、33箇所が登録されている。 ③主要な眺望点の状況 ア.既存資料調査 「朝霞市景観計画」によれば、主要な眺望点として、城山公園、東林橋、島の上公園、荒川堤防が挙げられているほか、台地から低地に下る坂道が、眺望点として挙げられている。 イ.現地調査 計画地を視認できる地点が限られている点、周辺の人家等の分布状況等を踏まえ、日常的な視点場を眺望点に加えることが望ましい点から、以下の6地点を選定した。 荒川右岸側堤防上道路：計画地東側約1.1kmに位置。 柵塚古墳歴史広場：計画地南側約1.5kmに位置。 内間木公園：計画地北東側約0.2kmに位置。 秋ヶ瀬橋：計画地北側約1.5kmに位置。 武蔵野線電車内：計画地西側約0.3kmに位置。 羽根倉橋：計画地北西側約4.0kmに位置。 ④主要な眺望景観の状況 荒川右岸側堤防上道路：現施設及び煙突を視認できる。 柵塚古墳歴史広場：現施設及び煙突を視認できる。 内間木公園：現施設の一部と煙突が視認できる。 秋ヶ瀬橋：現施設及び煙突を視認できる。 武蔵野線電車内：新河岸川に沿う緑地左側に現施設及び煙突を視認できる。 羽根倉橋：計画地から約4.0km離れており、建屋が樹林等によって隠されるため、明瞭に識別することが難しい。	施設の有在に伴う主要な眺望景観への影響の程度の予測を行った。予測は、フォトモンタージュの作成により、現況の眺望景観と将来の眺望景観を比較する方法によるものとした。 <table><tr><th colspan="2">表 施設の有在に伴う主要な眺望景観への影響の予測結果</th></tr><tr><th>地点名</th><th>主要な眺望景観の変化の状況</th></tr><tr><td>荒川（右岸側堤防上道路）</td><td>新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であり、注視すると新施設のボリューム感が若干増すように見えるが、スカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。</td></tr><tr><td>柵塚古墳歴史広場</td><td>新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であり、注視すると植栽の上に見える新施設のボリューム感は、現施設に比べ若干増すように見えるが、スカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。</td></tr><tr><td>内間木公園</td><td>新施設の位置が公園側に近づくため、建屋のボリューム感が増して見えるものの、煙突は植栽に阻まれて見通すことはできない。全体として眺望景観の変化はほとんどない。</td></tr><tr><td>秋ヶ瀬橋</td><td>新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であるが、注視すると新施設のボリューム感が若干増すように見える。後背の武蔵野台地と周辺の大規模建築物（物流倉庫等）からなるスカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。</td></tr><tr><td>武蔵野線電車内</td><td>工場棟の建屋が若干ボリューム感が増す印象を受ける。一方、雛段状の現施設がなくなることで、比較的すっきりとした見映えとなる。全体として眺望景観の変化はほとんどない。</td></tr><tr><td>羽根倉橋</td><td>現況と同じく送電鉄塔の脇に、煙突と工場棟の建屋が位置しているが、距離があるため、明瞭に識別することが難しい。</td></tr></table>	表 施設の有在に伴う主要な眺望景観への影響の予測結果		地点名	主要な眺望景観の変化の状況	荒川（右岸側堤防上道路）	新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であり、注視すると新施設のボリューム感が若干増すように見えるが、スカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。	柵塚古墳歴史広場	新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であり、注視すると植栽の上に見える新施設のボリューム感は、現施設に比べ若干増すように見えるが、スカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。	内間木公園	新施設の位置が公園側に近づくため、建屋のボリューム感が増して見えるものの、煙突は植栽に阻まれて見通すことはできない。全体として眺望景観の変化はほとんどない。	秋ヶ瀬橋	新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であるが、注視すると新施設のボリューム感が若干増すように見える。後背の武蔵野台地と周辺の大規模建築物（物流倉庫等）からなるスカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。	武蔵野線電車内	工場棟の建屋が若干ボリューム感が増す印象を受ける。一方、雛段状の現施設がなくなることで、比較的すっきりとした見映えとなる。全体として眺望景観の変化はほとんどない。	羽根倉橋	現況と同じく送電鉄塔の脇に、煙突と工場棟の建屋が位置しているが、距離があるため、明瞭に識別することが難しい。	計画地が、「朝霞市景観計画」の「水と緑を活かすゾーン」に位置していることから、表に示す景観づくりの方針と合致しているか否かによって影響の分析を行った。新施設は、隣接する新河岸川やその斜面林等を新たに改変することはないこと、現施設の建屋高さ及び煙突高さと同程度とし、建物のボリューム感を抑えること、敷地内では、一定の緑化率を満たす緑化を行うこと、周辺景観と調和する建築物の形態・意匠・色彩の採用が可能であることから、景観づくりの方針に沿った周辺景観と調和した施設づくりができると考える。 <table><tr><th colspan="2">表 影響の分析結果（煙突排ガスの排出に伴う悪臭の影響）</th></tr><tr><th colspan="2">景観づくりの方針（水と緑を活かすゾーン）</th></tr><tr><td colspan="2"> ・ 河川の自然環境、周辺の斜面林、農地や桜並木を保全します。 ・ 基地跡地、その周辺の公園の緑やケヤキ並木を保全し、適切な維持管理に努めます。 ・ 道路や遊歩道沿い、基地跡地周辺や河川沿いの公共施設において、緑化に努めます。 ・ 建築物、工作物や資材置き場などの緑化を推奨します。 ・ 東林橋、東武東上線沿線や島の上公園などの良好な眺めを保全するとともに、快適な空間づくりに取り組みます。 ・ 快適に歩ける遊歩道づくりや、黒目川などの水辺に親しめる空間づくりに取り組みます。 ・ 基地跡地周辺や河川沿いの公共施設において、人が集いやすくなる空間づくりに努めます。 ・ 河川、斜面林や農地などの水と緑の景観と調和し、旧高橋家住宅、城山公園、柵塚古墳などの歴史的資源を活かしたまちなみを形成するため、建築物、広告物などの形態・意匠・色彩、土石の堆積などに配慮します。 ・ 国道 254 号バイパス沿道の土地利用が、周辺の自然環境や農地などと調和するよう、景観形成のルールづくりに取り組みます。 </td></tr></table>	表 影響の分析結果（煙突排ガスの排出に伴う悪臭の影響）		景観づくりの方針（水と緑を活かすゾーン）		・ 河川の自然環境、周辺の斜面林、農地や桜並木を保全します。 ・ 基地跡地、その周辺の公園の緑やケヤキ並木を保全し、適切な維持管理に努めます。 ・ 道路や遊歩道沿い、基地跡地周辺や河川沿いの公共施設において、緑化に努めます。 ・ 建築物、工作物や資材置き場などの緑化を推奨します。 ・ 東林橋、東武東上線沿線や島の上公園などの良好な眺めを保全するとともに、快適な空間づくりに取り組みます。 ・ 快適に歩ける遊歩道づくりや、黒目川などの水辺に親しめる空間づくりに取り組みます。 ・ 基地跡地周辺や河川沿いの公共施設において、人が集いやすくなる空間づくりに努めます。 ・ 河川、斜面林や農地などの水と緑の景観と調和し、旧高橋家住宅、城山公園、柵塚古墳などの歴史的資源を活かしたまちなみを形成するため、建築物、広告物などの形態・意匠・色彩、土石の堆積などに配慮します。 ・ 国道 254 号バイパス沿道の土地利用が、周辺の自然環境や農地などと調和するよう、景観形成のルールづくりに取り組みます。	
表 施設の有在に伴う主要な眺望景観への影響の予測結果																										
地点名	主要な眺望景観の変化の状況																									
荒川（右岸側堤防上道路）	新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であり、注視すると新施設のボリューム感が若干増すように見えるが、スカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。																									
柵塚古墳歴史広場	新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であり、注視すると植栽の上に見える新施設のボリューム感は、現施設に比べ若干増すように見えるが、スカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。																									
内間木公園	新施設の位置が公園側に近づくため、建屋のボリューム感が増して見えるものの、煙突は植栽に阻まれて見通すことはできない。全体として眺望景観の変化はほとんどない。																									
秋ヶ瀬橋	新施設の建屋高さ、煙突高さは現施設とほぼ同等であるが、注視すると新施設のボリューム感が若干増すように見える。後背の武蔵野台地と周辺の大規模建築物（物流倉庫等）からなるスカイラインを著しく変化させることはなく、全体として眺望景観の変化はほとんどない。																									
武蔵野線電車内	工場棟の建屋が若干ボリューム感が増す印象を受ける。一方、雛段状の現施設がなくなることで、比較的すっきりとした見映えとなる。全体として眺望景観の変化はほとんどない。																									
羽根倉橋	現況と同じく送電鉄塔の脇に、煙突と工場棟の建屋が位置しているが、距離があるため、明瞭に識別することが難しい。																									
表 影響の分析結果（煙突排ガスの排出に伴う悪臭の影響）																										
景観づくりの方針（水と緑を活かすゾーン）																										
・ 河川の自然環境、周辺の斜面林、農地や桜並木を保全します。 ・ 基地跡地、その周辺の公園の緑やケヤキ並木を保全し、適切な維持管理に努めます。 ・ 道路や遊歩道沿い、基地跡地周辺や河川沿いの公共施設において、緑化に努めます。 ・ 建築物、工作物や資材置き場などの緑化を推奨します。 ・ 東林橋、東武東上線沿線や島の上公園などの良好な眺めを保全するとともに、快適な空間づくりに取り組みます。 ・ 快適に歩ける遊歩道づくりや、黒目川などの水辺に親しめる空間づくりに取り組みます。 ・ 基地跡地周辺や河川沿いの公共施設において、人が集いやすくなる空間づくりに努めます。 ・ 河川、斜面林や農地などの水と緑の景観と調和し、旧高橋家住宅、城山公園、柵塚古墳などの歴史的資源を活かしたまちなみを形成するため、建築物、広告物などの形態・意匠・色彩、土石の堆積などに配慮します。 ・ 国道 254 号バイパス沿道の土地利用が、周辺の自然環境や農地などと調和するよう、景観形成のルールづくりに取り組みます。																										

3.2 施設設置に関し要求水準書等に反映させるべき事項及びその内容

新施設の設置に関する要求水準書等に反映させるべき事項及びその内容は、以下に示すとおりである。

(1) 大気汚染防止

- ① バグフィルタにおいて燃焼ガス中のばいじん、塩化水素・硫黄酸化物の反応生成物、ダイオキシン類吸着物を捕集する。

(2) 騒音防止

- ① 室内騒音が懸念される場合は、室内の壁を防音壁とする。
- ② 騒音の大きい機器類は、配置位置を十分検討し、騒音の低減を図る。
- ③ 居室等に騒音が伝わりにくいように、必要な箇所には防音扉を設ける。
- ④ 騒音の大きい機器類は、性能を満足する範囲で低騒音型を用いる。
- ⑤ 屋外設置機器に防音対策を施す。
- ⑥ 上記対策を行った上で、さらに騒音の影響を低減する必要がある場合には、遮音壁の設置もしくは同程度の防音対策を講ずる。

(3) 振動防止

- ① 振動の大きい機器類は、配置位置を十分検討し、振動の低減を図る。
- ② 振動の大きい機器類は、防振構造の据付とする。

3.3 維持管理に関し要求水準書等に反映させるべき事項及びその内容

新施設の維持管理に関する要求水準書等に反映させるべき事項及びその内容は、以下に示すとおりである。

(1) 大気汚染防止

- ① 窒素酸化物については、適切な燃焼温度を制御するとともに、薬剤の直接噴霧法による低減を図る。
- ② 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。

(2) 騒音防止

- ① 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。

(3) 振動防止

- ① 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。

(4) 悪臭防止

- ① プラットホームの車両入口にエアカーテンを設け、臭気の漏洩を防止する。
- ② プラットホーム及びごみピット内は負圧に保ち、臭気の漏れ出しを防止する。
- ③ プラットホームの出入口扉の開閉時間を出来るだけ短くする等、日常の維持管理における作業管理に十分な配慮を行う。

別添

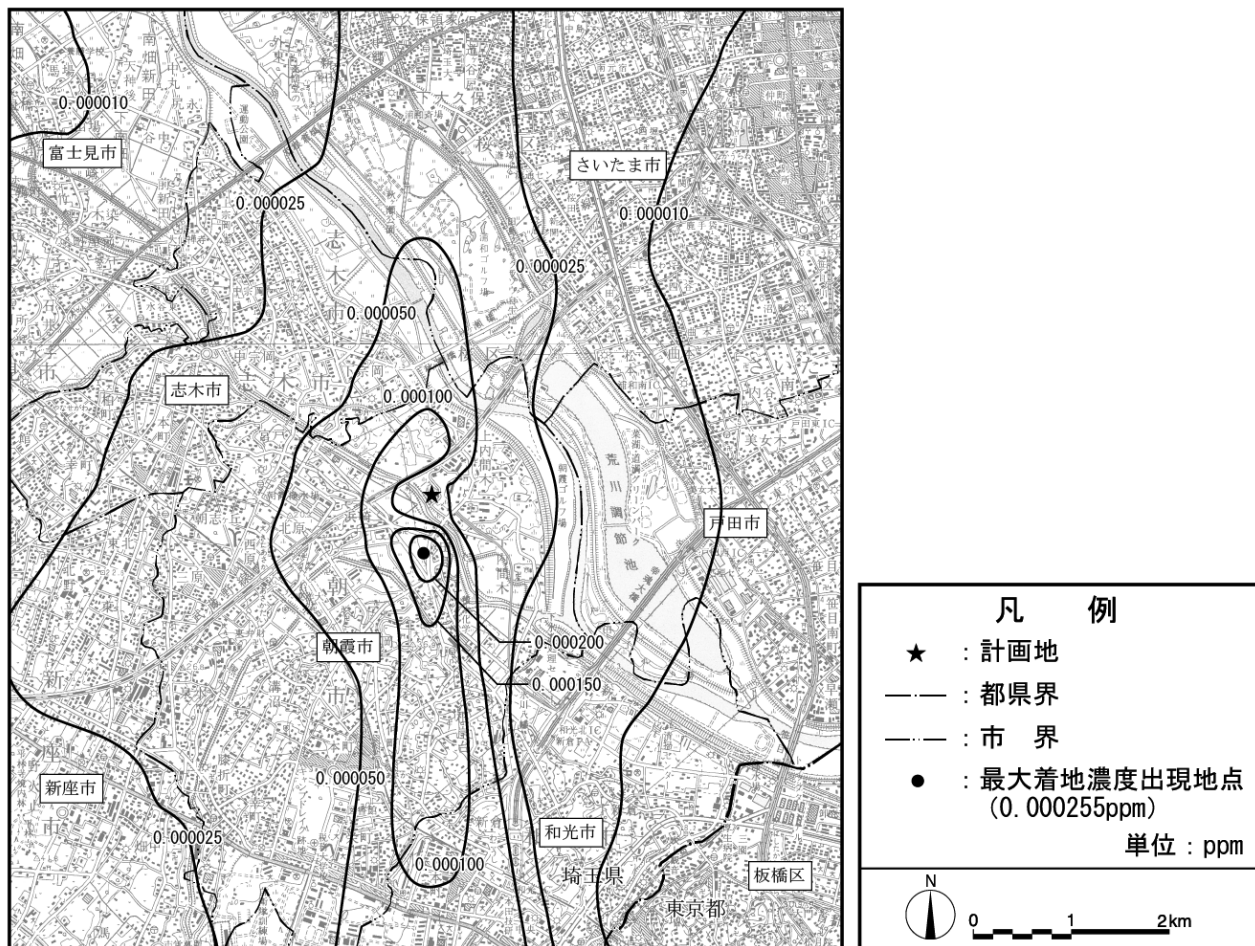


図 1 ごみ処理施設からの排出ガス (二酸化窒素)

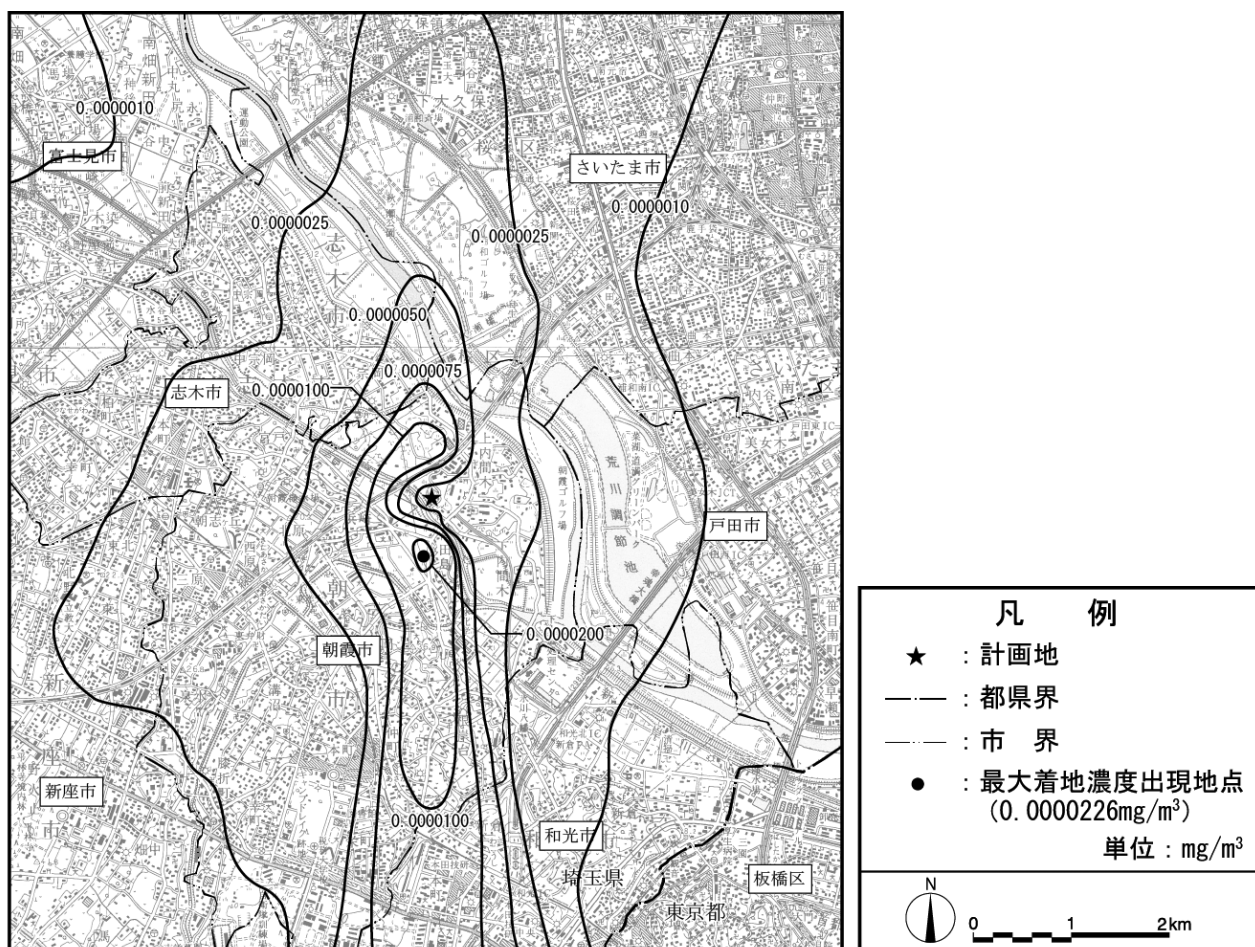


図 2 ごみ処理施設からの排出ガス (浮遊集粒子状物質)

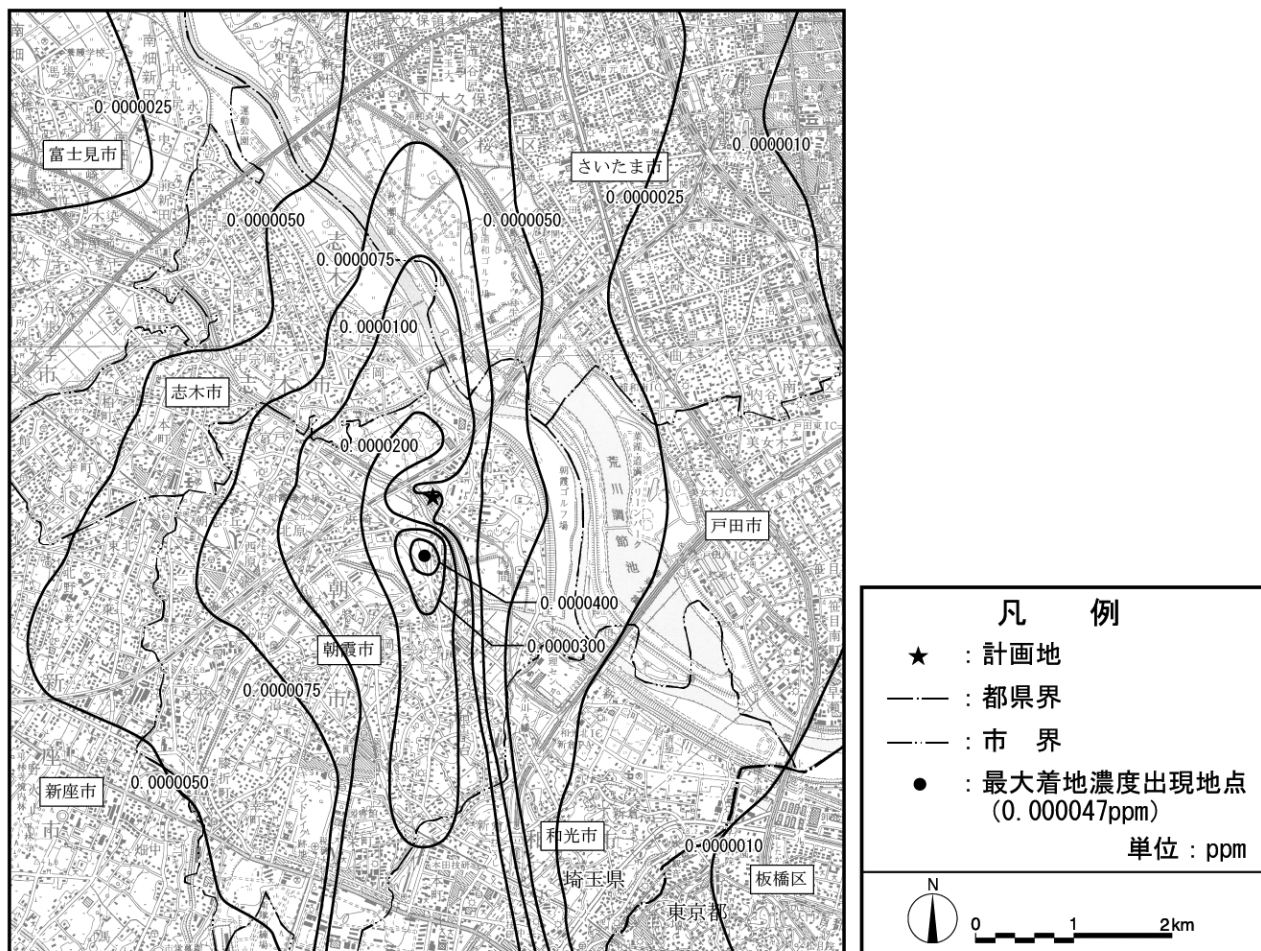


図3 ごみ処理施設からの排出ガス（二酸化硫黄）

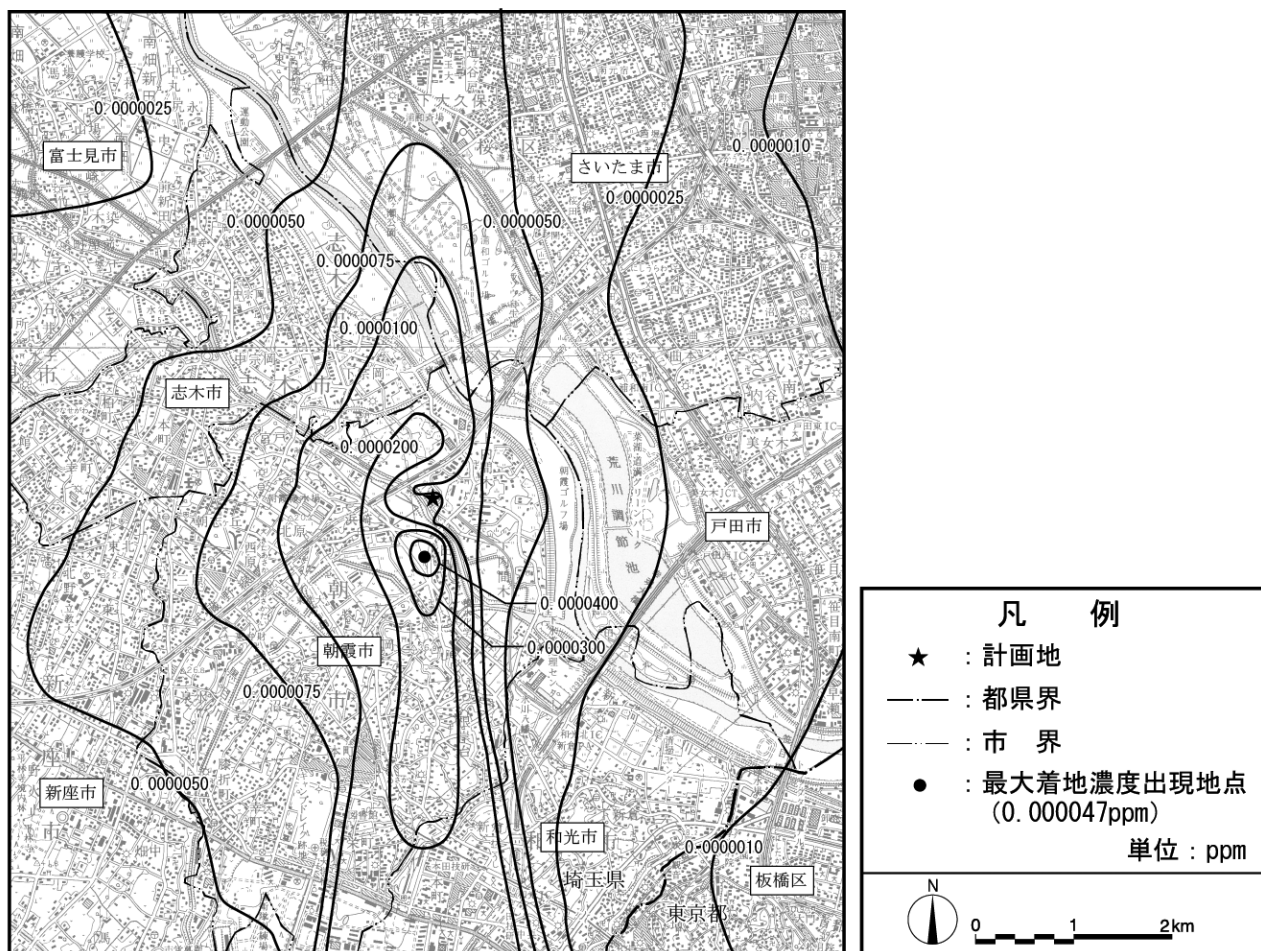


図4 ごみ処理施設からの排出ガス（塩化水素）

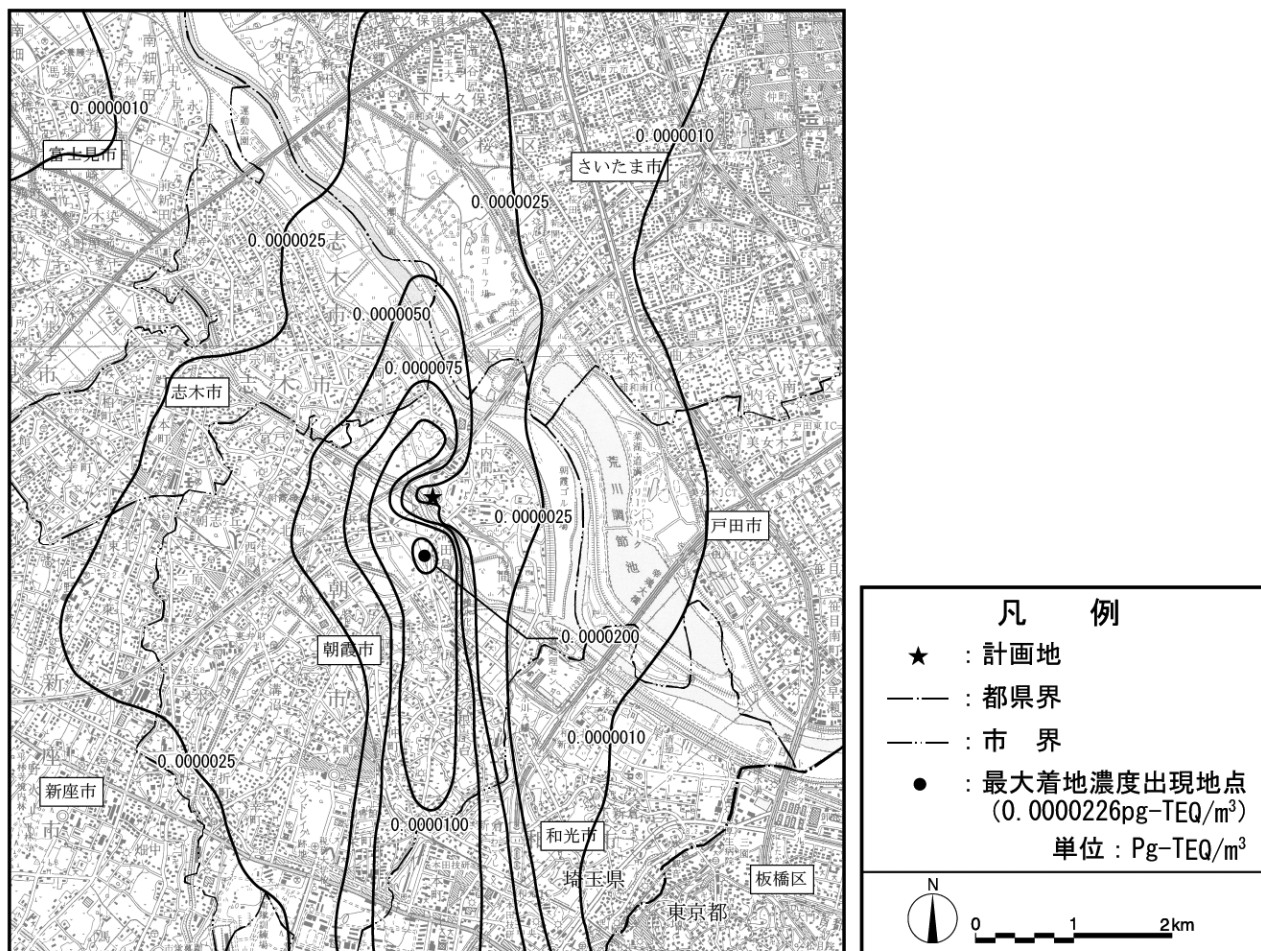


図5 ごみ処理施設からの排出ガス（ダイオキシン類）

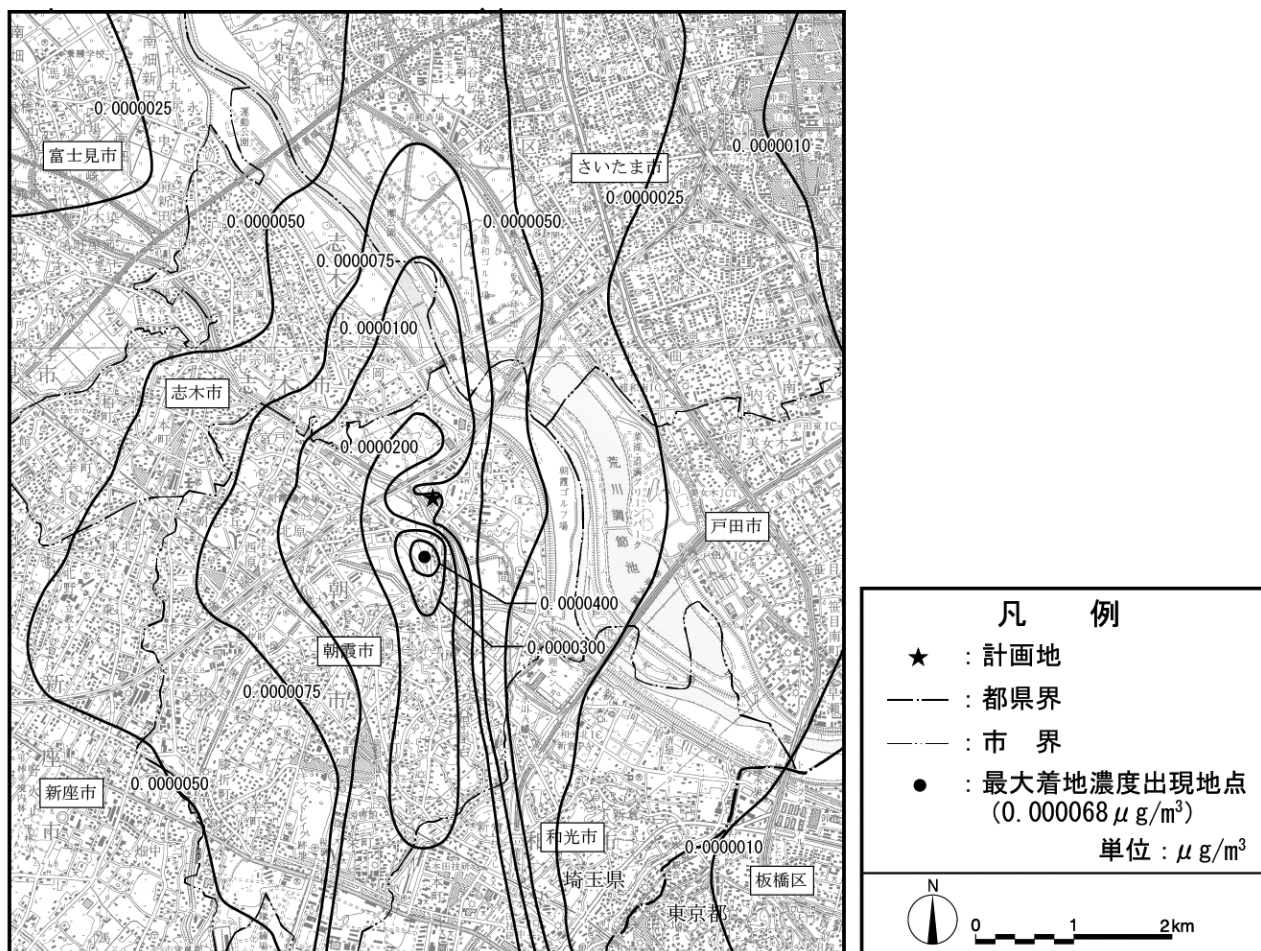
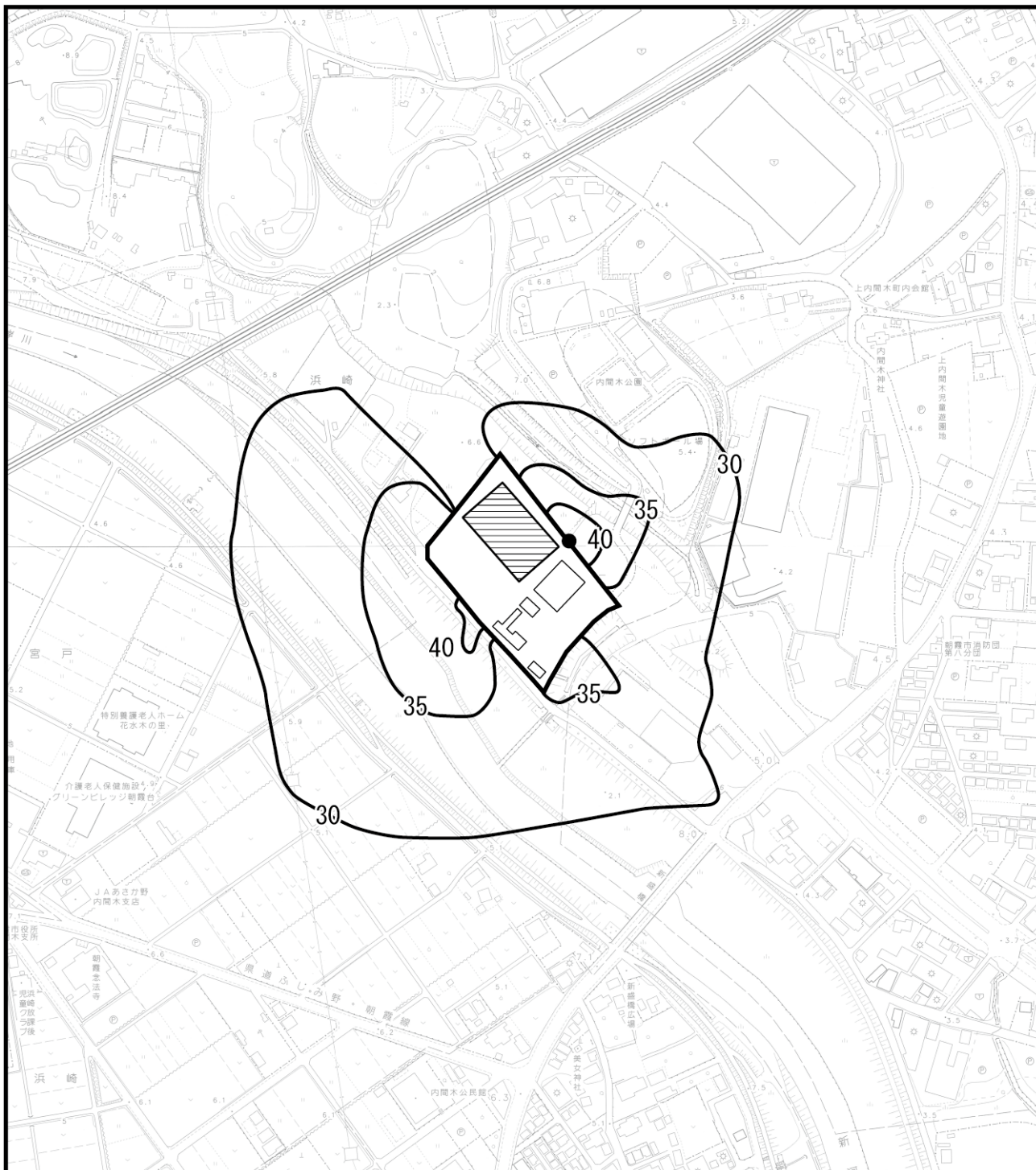


図6 ごみ処理施設からの排出ガス（水銀）



凡 例

 : 計画地

 : 最大騒音レベル出現地点 (45dB)

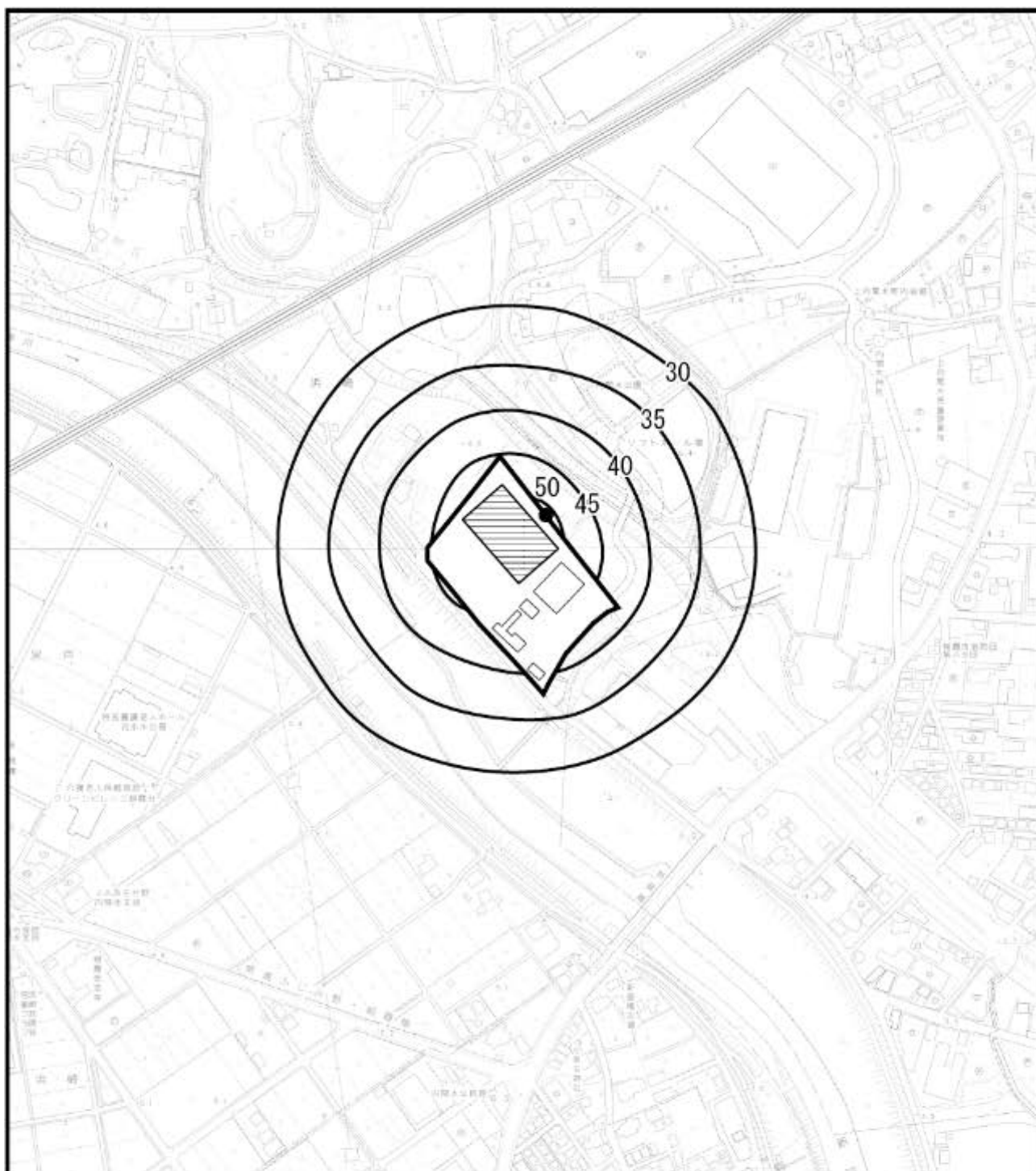
図 7 施設の稼働に伴う騒音レベル

単位 : dB



1:5,000

0 100 200m



凡 例

□ : 計画地

● : 最大振動レベル出現地点 (51dB)

図 8 施設の稼働に伴う振動レベル

単位 : dB



1:5,000

0 100 200m

平成29年3月 発行

朝霞市クリーンセンターごみ焼却処理施設
整備運営事業に係る生活環境影響調査書
概要版

編集・発行 朝霞市

本書に掲載した地図（5万分の1、2万5千分の1縮尺）は、国土地理院発行の5万分の1、2万5千分の1地形図「志木」を使用したものである。